

# 2019年度上期決算実績及び 中期経営計画2020の 進捗状況

2019年11月25日  
代表取締役社長  
佐伯 康光



**日鉄物産**  
NIPPON STEEL TRADING

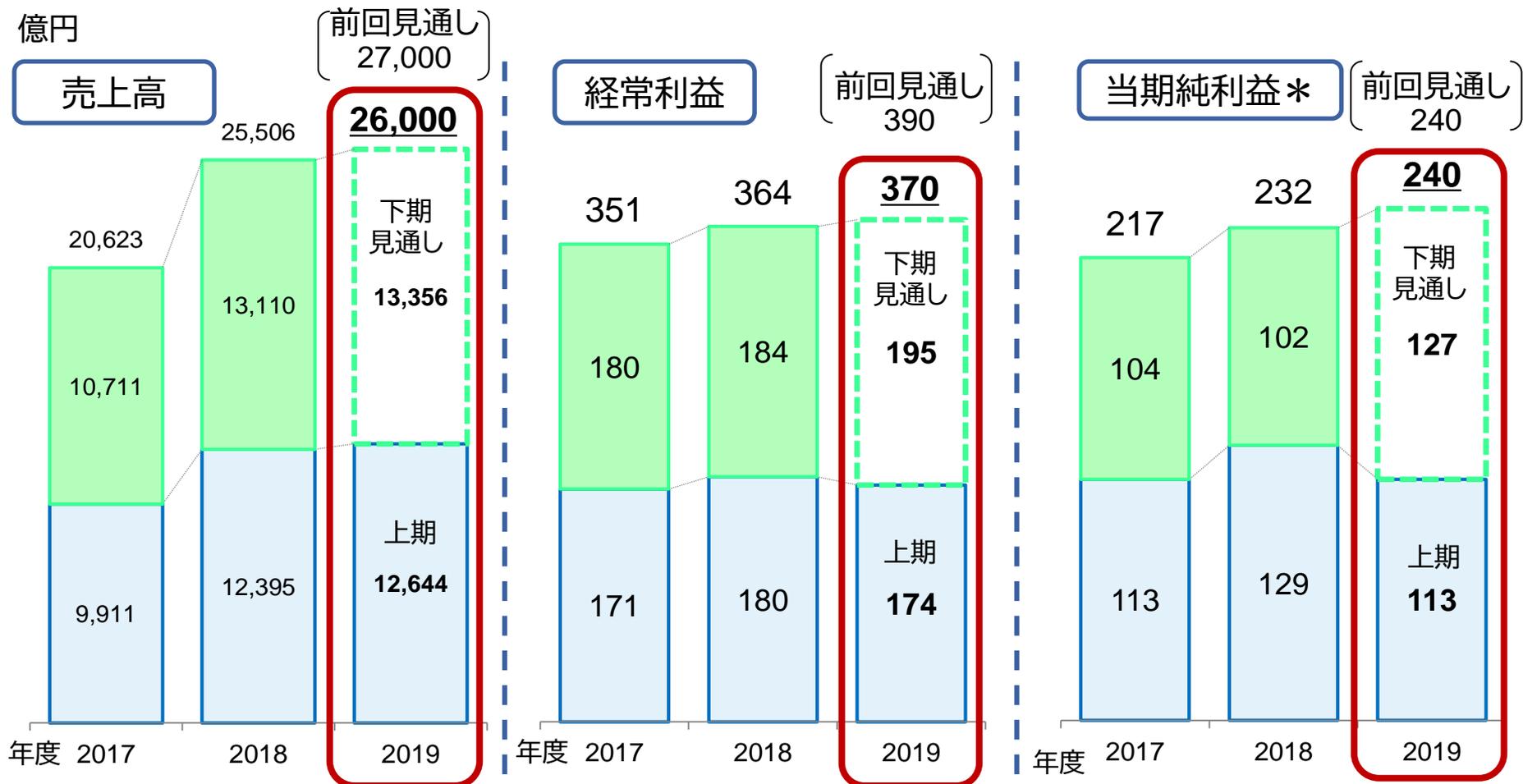
1. **2019年度上期決算実績および2019年度見通し**
2. **中期経営計画2020の進捗状況**
3. **参考資料**

# 1. 2019年度上期決算実績および 2019年度見通し

---

# 2019年度上期決算のポイント

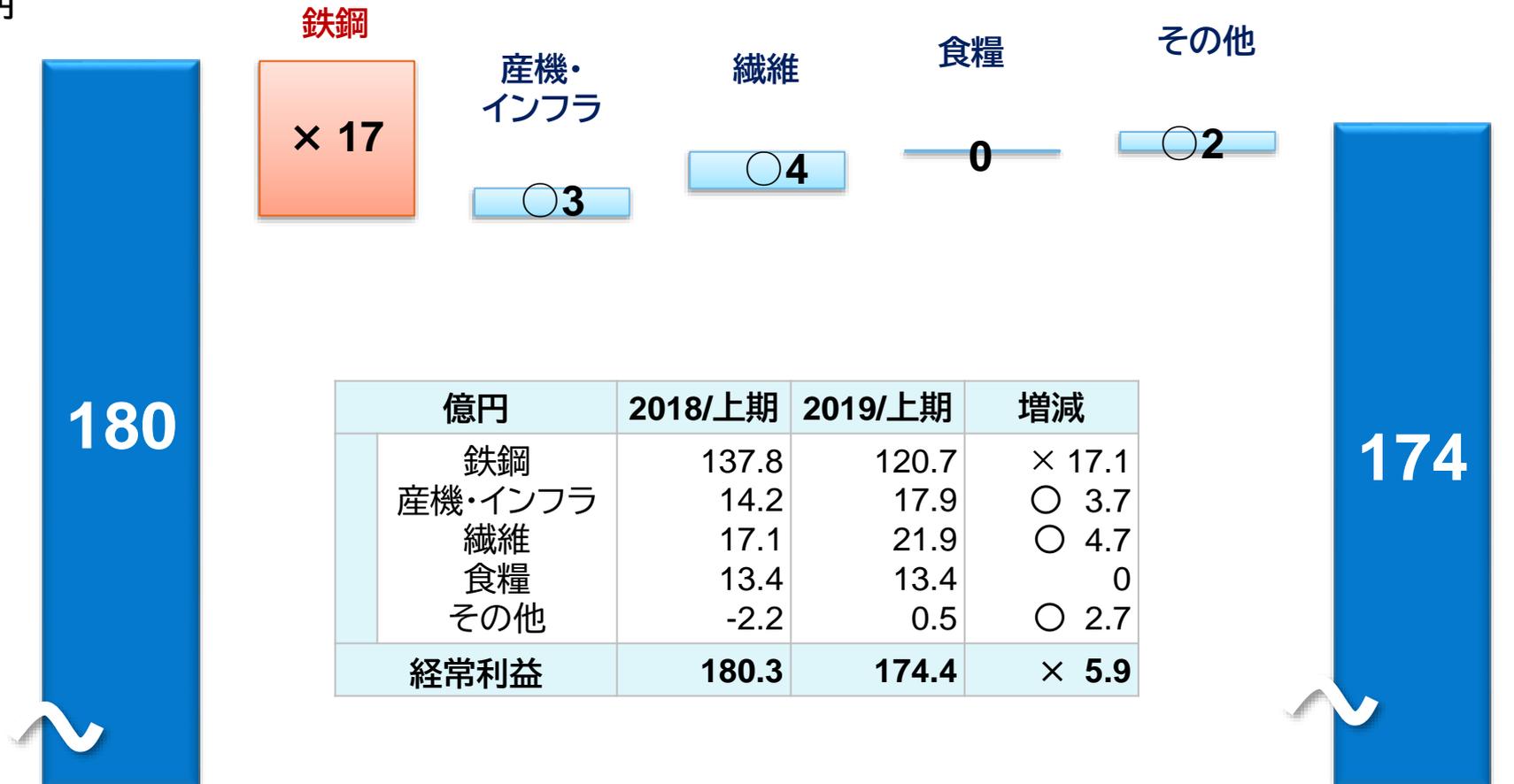
- 上期経常利益 174億円(×5億円)、当期純利益\*113億円(×16億円)と減益なるも、下期の挽回で通期経常利益(370億円)、当期純利益(240億円)は前年度対比増益見通し



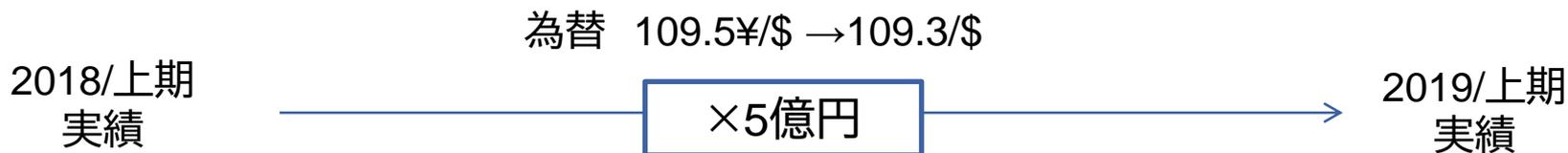
\* 親会社株主に帰属する当期純利益(以下同じ)

# 経常利益増減 (2018年度上期実績→2019年度上期実績)

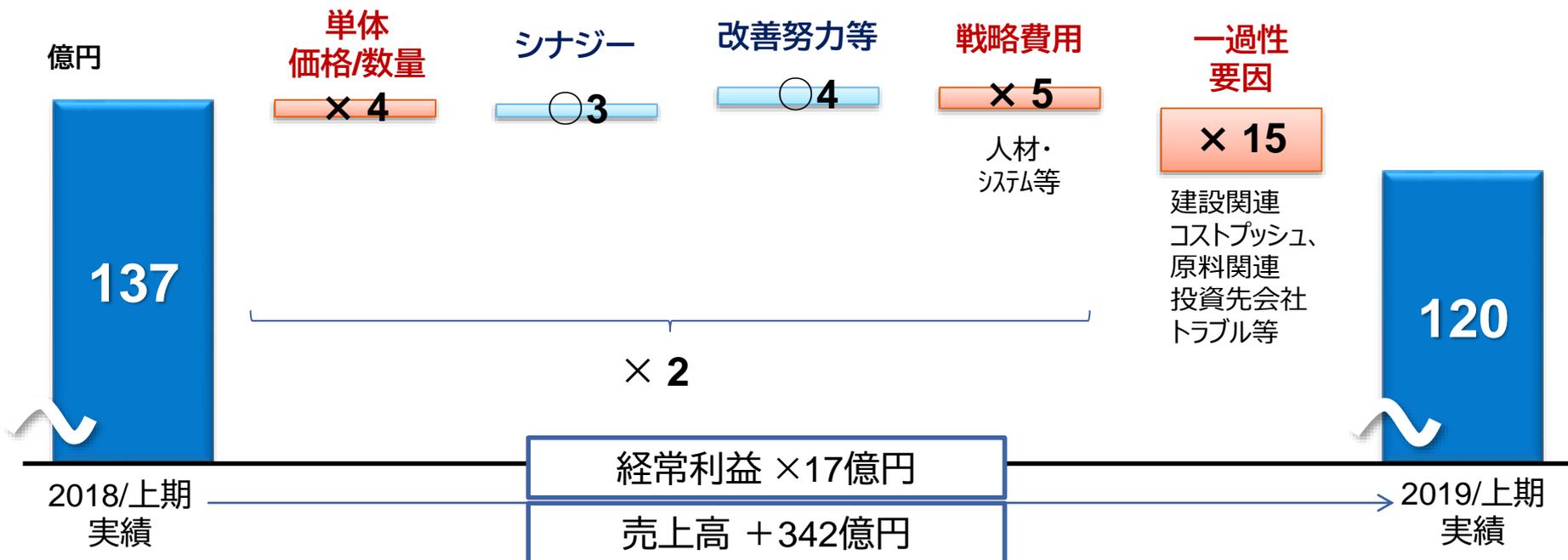
億円



億円	2018/上期	2019/上期	増減
鉄鋼	137.8	120.7	× 17.1
産機・インフラ	14.2	17.9	○ 3.7
繊維	17.1	21.9	○ 4.7
食糧	13.4	13.4	0
その他	-2.2	0.5	○ 2.7
<b>経常利益</b>	<b>180.3</b>	<b>174.4</b>	<b>× 5.9</b>



# 鉄鋼事業経常利益増減 (2018年度上期実績→2019年度上期実績)

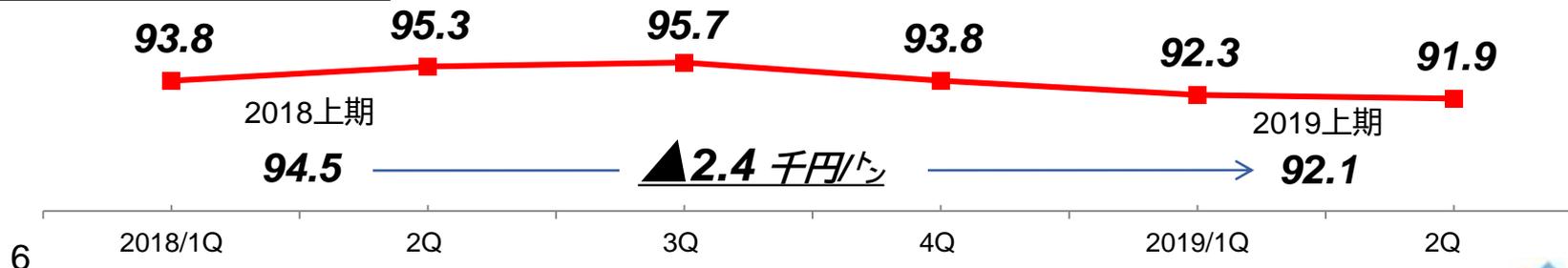


当社連結  
鋼材取扱量

万ト	2018上期	2019上期	増減
連結計	986	1,024	+38

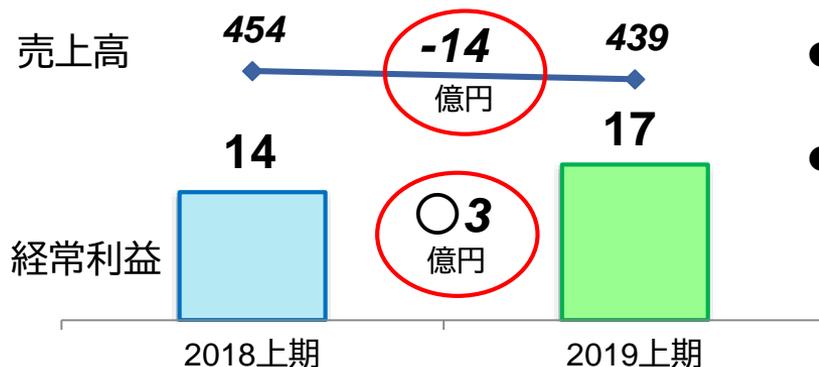
単体  
子会社(NST日本鉄板他)+ 40 ▲ 3

当社単体鋼材販売価格



# 産機・インフラ、繊維、食糧事業 経常利益増減

## 産機・インフラ



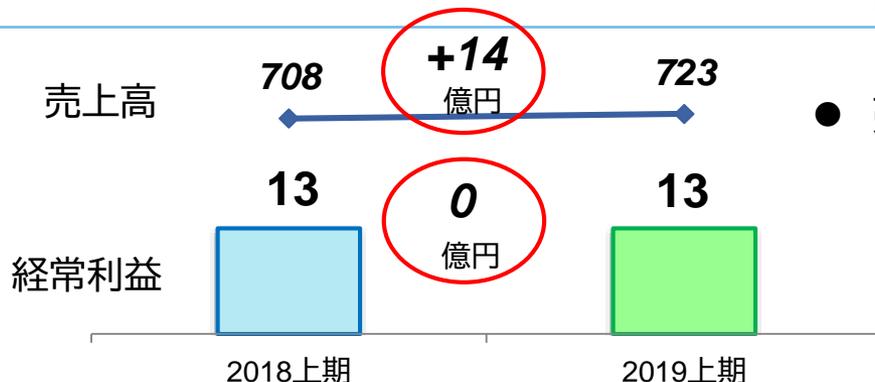
- 売上高はほぼ横ばい
- タイ持分法適用会社における一過性利益等により、経常利益は前期比○3億円の17億円

## 繊維



- 厳しい経営環境は継続、子会社株式売却による連結範囲変更もあり、売上高は93億円の減収
- 小ロット・短納期対応強化によるロスの削減や子会社の業績好転等により、経常利益は前期比○4億円の21億円

## 食糧



- 売上高・経常利益ともにほぼ横ばい

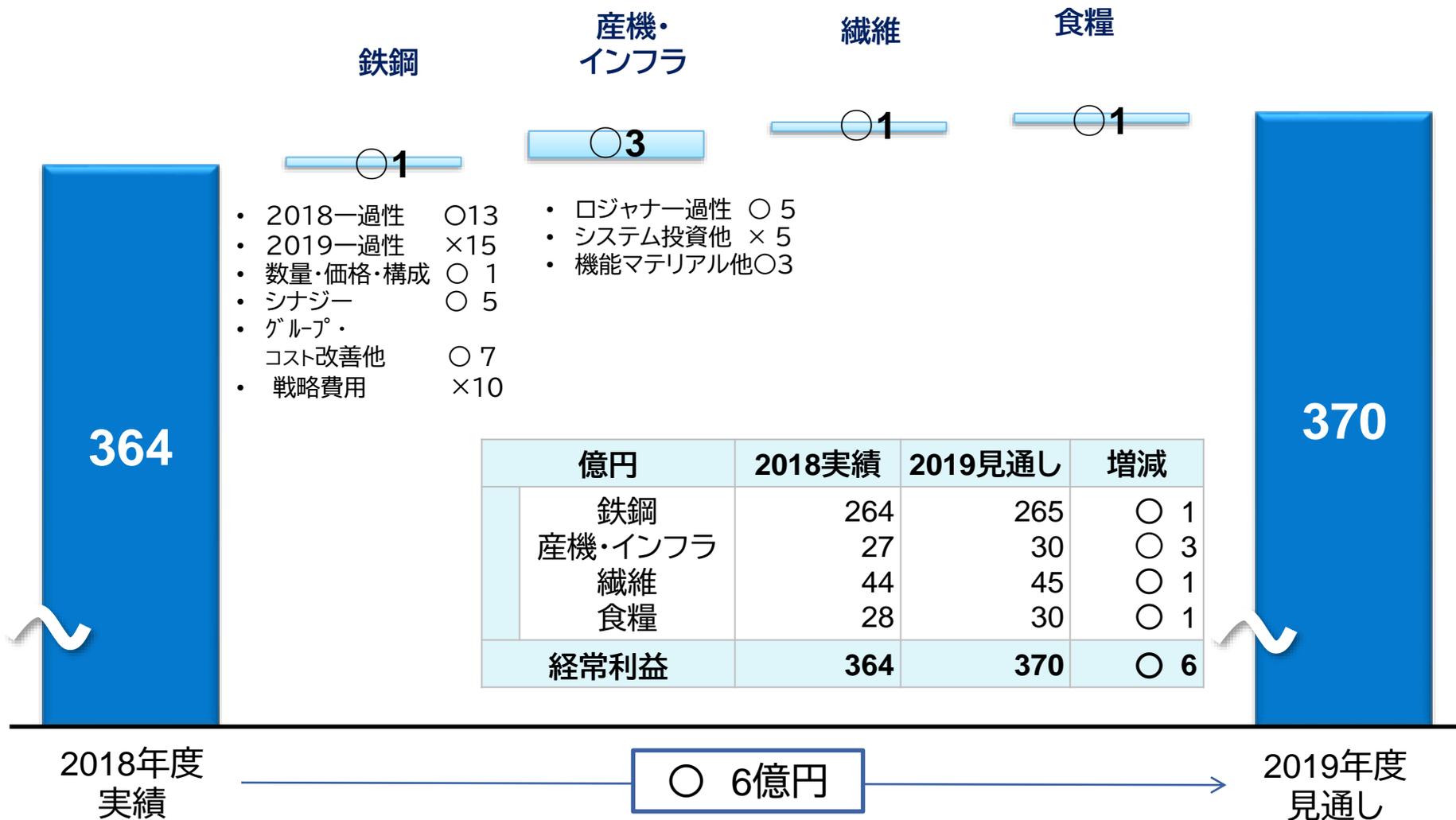
# 2019年度業績見通し

- 一過性損失や鉄鋼需給動向等を鑑み、通期経常利益は370億円に見直し
- 当期利益(240億円)、配当(230円/株)は期初予定通り

億円	2018年度				前回見通 対比	2019年度 見通し	増減 19-18
	下期		上期	下期見通し			
鉄鋼	11,146	21,629	10,827	11,273	[-900]	22,100	471
産機・インフラ	468	923	439	560			
繊維	767	1,508	648	752	[-100]	1,400	-108
食糧	715	1,424	723	776			
売上高	13,110	25,506	12,644	13,356	[-1,000]	26,000	494
鉄鋼	126	264	120	144	[-25]	265	○ 1
産機・インフラ	13	27	17	12			
繊維	27	44	21	23		45	○ 1
食糧	14	28	13	16		30	○ 1
経常利益	184	364	174	195	[-20]	370	○ 6
当期純利益	102	232	113	127		240	○ 8
EPS (円)	319.3	720.7	351.5	392.5		744.0	23.3
配当(円/株)	110	220	115	115		230	10
配当性向		30.5%				30.9%	0.4%

# 経常利益増減 [2018年度実績 → 2019年度見通し]

億円



# 経常利益増減 [2019年度上期実績 → 2019年度下期見通し]

億円

鉄鋼

○23

- 一過性戻り ○15
- 数量・価格・構成 ○8
- 戦略費用 ×4
- グループ/コスト改善他 ○4

産機・  
インフラ

×5

- 一過性戻り ×5

繊維

○1

食糧

○3

174

億円	上期実績	下期見通し	増減
鉄鋼	120	144	○23
産機・インフラ	17	12	×5
繊維	21	23	○1
食糧	13	16	○3
経常利益	174	195	○21

195

2019/上期  
実績

○ 21億円

2019/下期  
見通し

## 2019年度連結鋼材取扱量目標 (単体+子会社 消去前)

万ト・年度	上期	下期見通し	増減
連結計	1,024	1,150程度	+130程度
単体	804	900程度	+90程度
子会社	211	250程度	+40程度

国内:活動水準差、上期在庫調整影響  
輸出:プロジェクト案件中心の増加

# 株主還元方針

## 配当方針

当社は株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとして考え、財務体質の改善を図りつつ、連結配当性向30%以上を目安に業績に応じた配当を行うことを基本方針といたします。

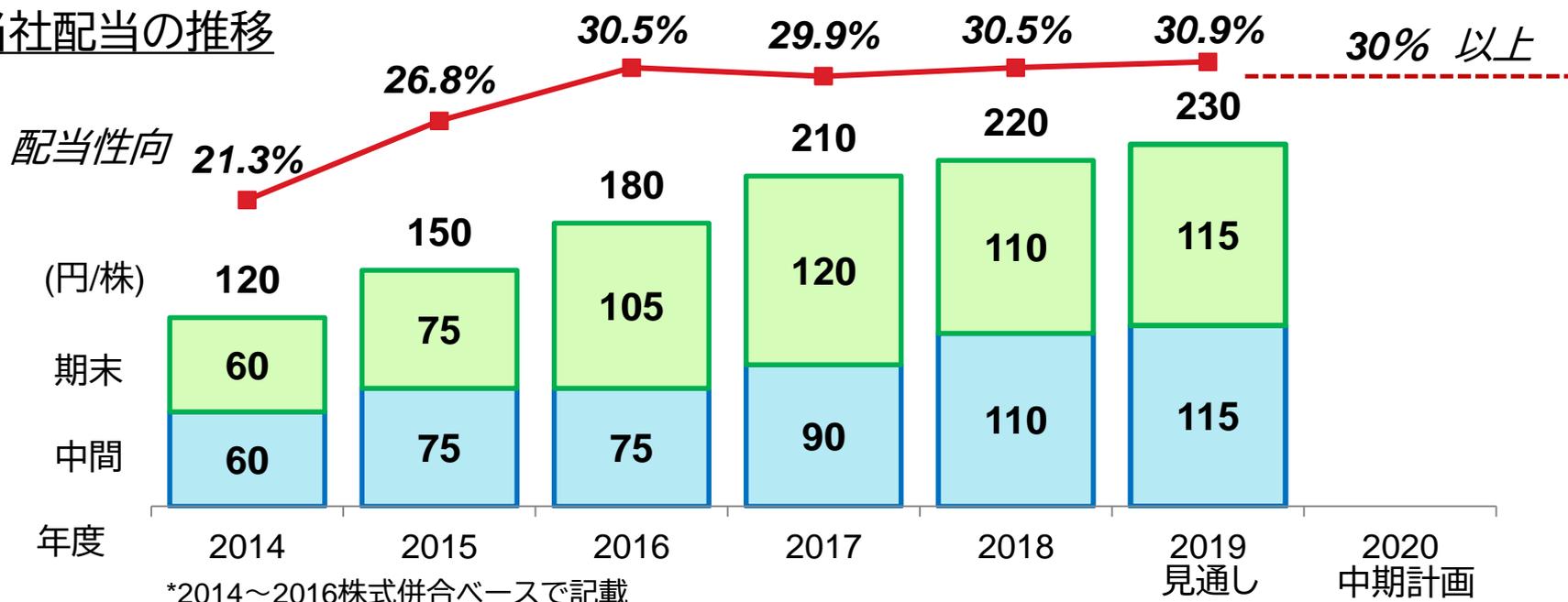
### 2018年度配当

通期配当 **220円/株**  
(配当性向 **30.5%**)

### 2019年度配当見通し

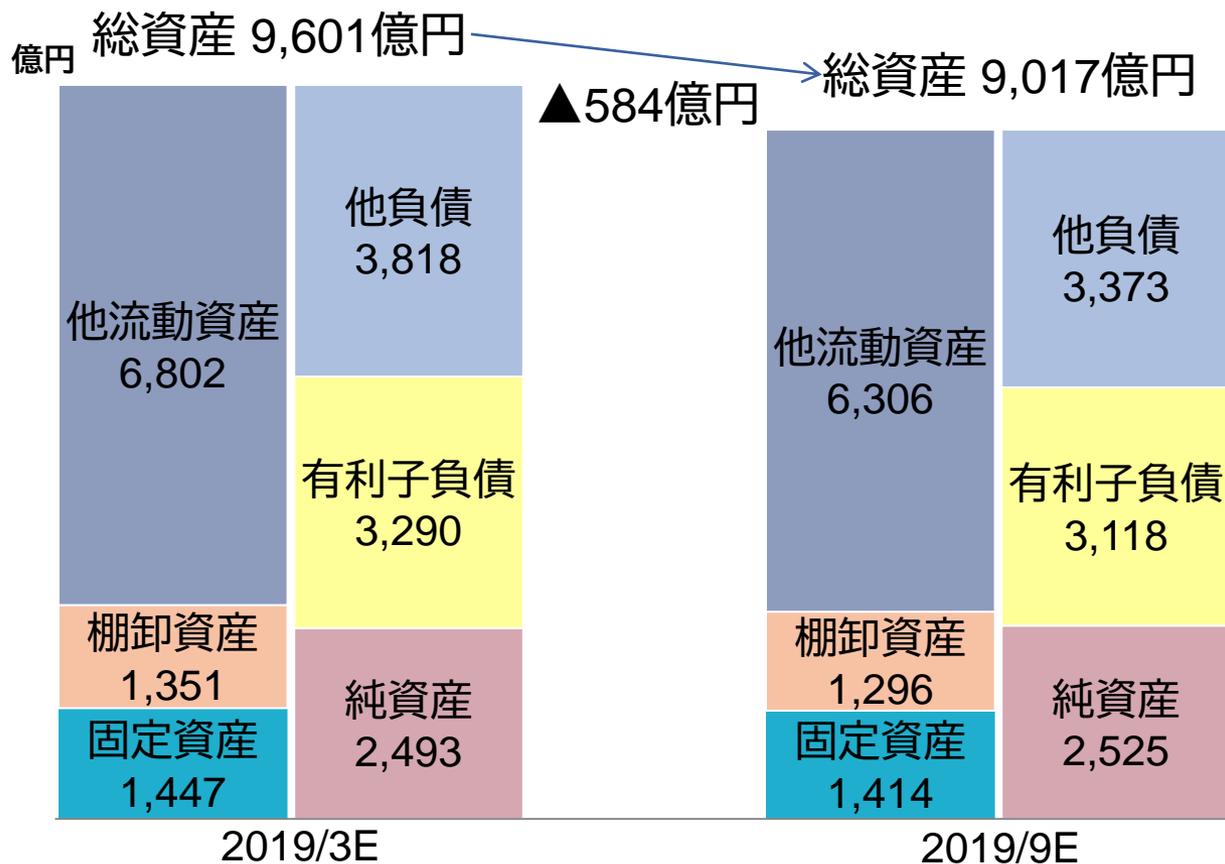
通期配当 **230円/株**  
(配当性向 **30.9%**)

### 当社配当の推移

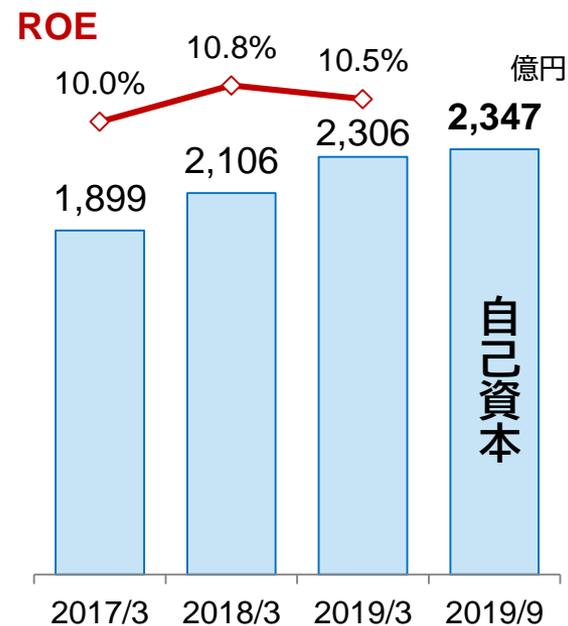


# バランスシートの状況

- 総資産は売掛金の減を主体に減、財務体質は改善傾向



	2019/3E	2019/9E
自己資本比率	24.0%	26.0%
Net - D/Eレシオ	1.32倍	1.23倍



# キャッシュフローの状況

億円		2018上期	2019上期
	税金等調整前当期純利益	189	173
	減価償却費	25	27
	持分法による投資損益	-11	-11
	金利・税他	-62	-91
	<b>小計</b>	141	98
	運転資本増減	-25	84
	<b>営業キャッシュフロー</b>	116	183
	三井鉄鋼事業譲受関連	-668	-
	設備・事業投資等	-40	-31
	<b>投資キャッシュフロー</b>	-709	-31
	<b>フリーキャッシュフロー</b>	-593	151
	<b>財務キャッシュフロー</b>	551	-157
	<b>現金同等物増減</b>	-47	-8

## 2. 中期経営計画2020の進捗状況

---

## 中期経営計画2020

# Four Business, One Success.

四つの事業力を一つに、顧客と社会に更なる貢献をするエクセレントカンパニーへ。

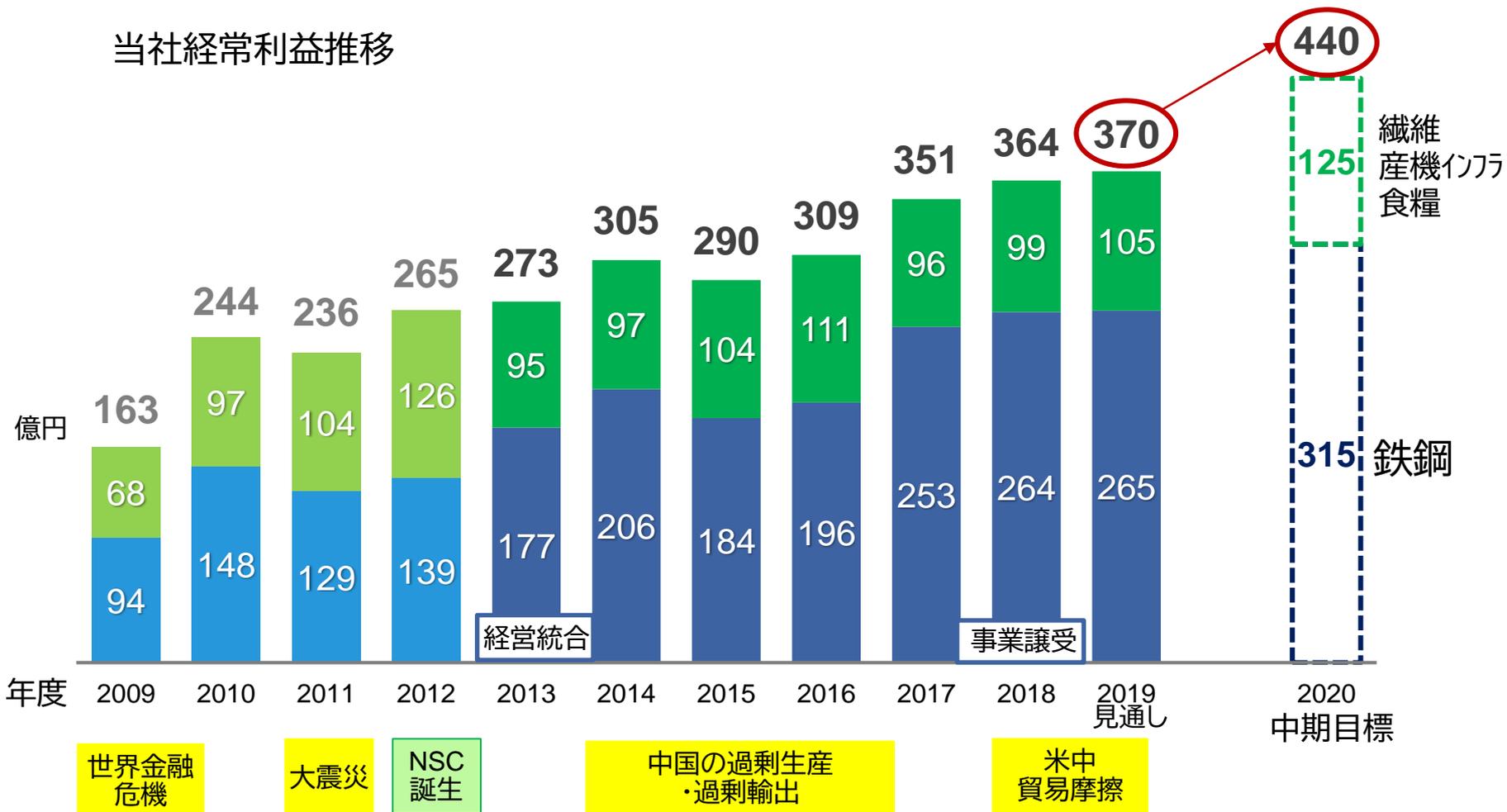
- 経営基盤固めから更なる成長戦略へのシフト
- 社会・産業の変化に対応したサービスとソリューションの提供
- 安心・安全・品質の追求と法令遵守の徹底
- 次世代を担う人材の確保・育成、「働きやすい職場」、「働きがいのある仕事」の創造

	中期経営計画 2020年度目標
売上高	2兆8,000 億円
経常利益	440 億円
当期利益	260 億円
Net D/E ratio	1.0 倍程度
ROE	10% 程度
	2018~2020年度合計
投融資枠	500 億円程度
	2018年度~
配当性向	30 %以上

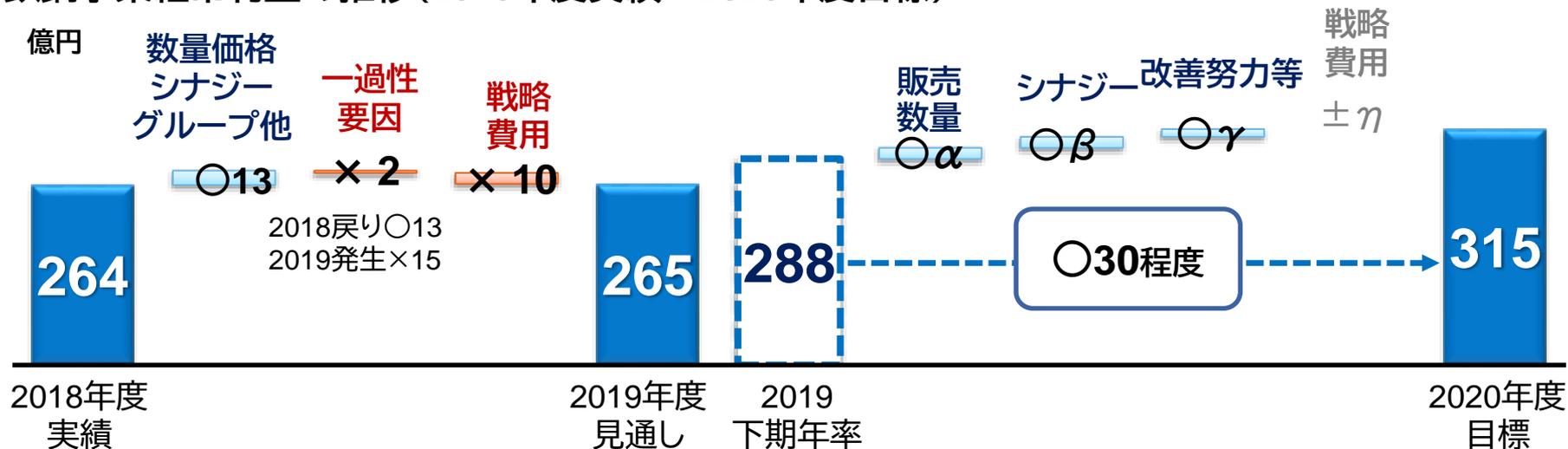
# 10年間の当社業績トレンド

当社収益は鉄鋼事業の成長と、その他3事業の収益貢献により、安定的に成長

当社経常利益推移



### 鉄鋼事業経常利益の推移(2018年度実績～2020年度目標)



### 連結鋼材取扱量目標 (単体+子会社 消去前)

万ト・年度	2018 実績	2019 見通し	増減
連結計	2,032	2,170程度	+140程度
単体	1,647	1,700程度	+50程度
子会社	385	470程度	+90程度

上期 1,024  
下期 1,150

2019下期  
年率 2,300

2020中期  
目標 2,400

輸出主体の増

NST日本鉄板子会社化

### α 販売数量増加

- 当社バリューチェーンの強化・拡大
- 新需要・新技術への対応強化
- 日本製鉄Grとの連携強化

### β シナジー追求

- 三井物産との協業
- NST日本鉄板

### γ 改善努力等

- 低採算分野、低収益・赤字子会社の早期改善

万ト	2017年度	2018年度	2019見込み	(下期目標年率)
連結計	1,655	2,032	2,170程度	2,300程度

- ✓ 米国新コイルセンター2020年初稼働開始
- ✓ ベトナム鉄骨加工拠点(QH-PLUS社)活用
- ✓ インサイダー化推進

- ✓ 高機能材との共同提案営業
- ✓ 自動車EV化対応の強化

- ✓ 日本製鉄海外JV等の販売拡大

	2018年度	18→19	2019年度
シナジー累計	4億円	+5億円	9億円

- ✓ プロジェクト対応、海外拠点活用、輸送効率化等

- ✓ 相互営業網活用、流通・加工効率化等

年度	2014	2015	2016	2017	2018	19上期
赤字子会社	17社	16社	11社	10社	9社	13社

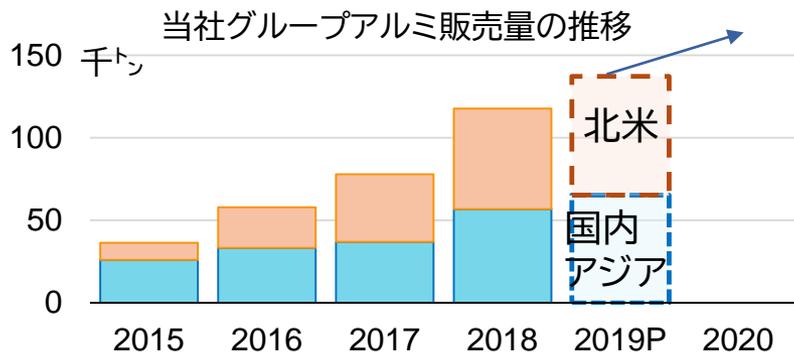
- ✓ 選択と集中の継続
- ✓ 営業コスト、管理コスト見直しによる採算改善

### 経常利益の推移(2018年度実績～2020年度目標)



#### α 機能材料

- 北米向けアルミ等の拡販推進



#### β 自動車部品

- ハッドレストスティ事業の競争力強化

・インドにハッドレストスティ合弁会社を設立

#### γ 機械/インフラ

- バトナム・メキシコ等新規海外工業団地の拡販
- 海外向け厨房自動化機器の拡販

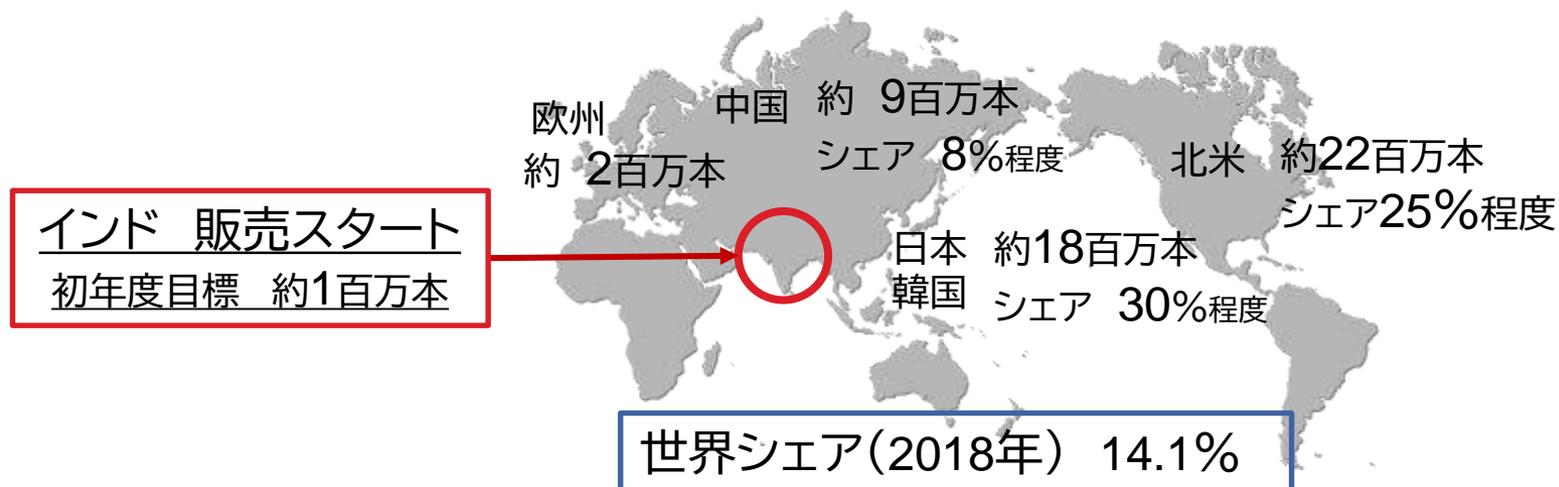
# ヘッドレストスティ事業の展開

## ● インドにヘッドレストスティ合弁会社を設立

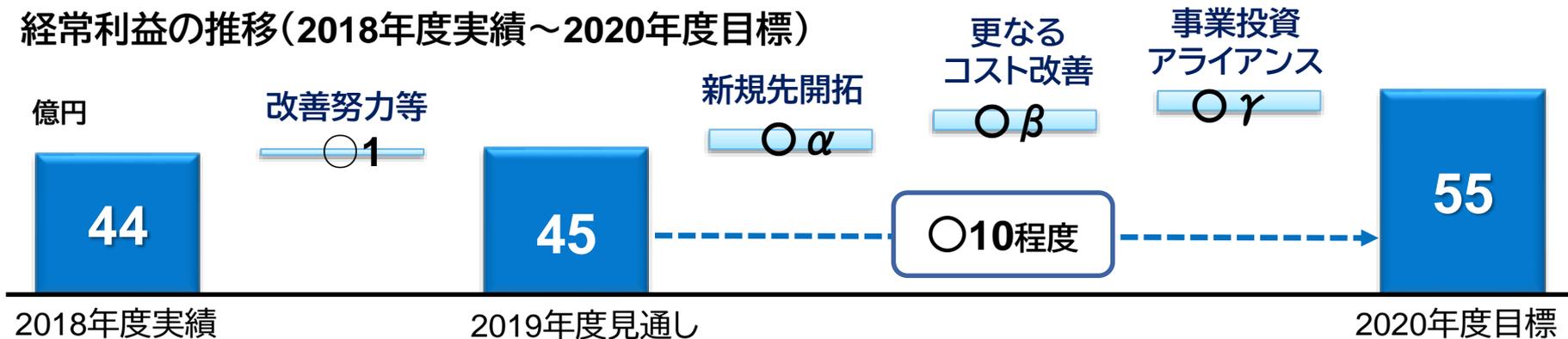
・インドで自動車部品製造を手掛けるスワスティック社と合弁で、ハリヤナ州にヘッドレスト・ステイを生産する「スワスティック・アライ・チューブラー社」を新たに設立



## ヘッドレストスティ地域別販売本数と推定シェア



### 経常利益の推移(2018年度実績～2020年度目標)



### <マーケット環境の変化>

- 購買動向の変化
  - ✓ 「所有」 → 「利用」へ
  - ✓ 「既製服」 → 「カスタムオーダー」へ
- 調達形態の変化
  - ✓ 販売ロスの排除 ⇒ 小ロット・短サイクル・期中生産(短納期化)

### 日本のアパレル市場の推移

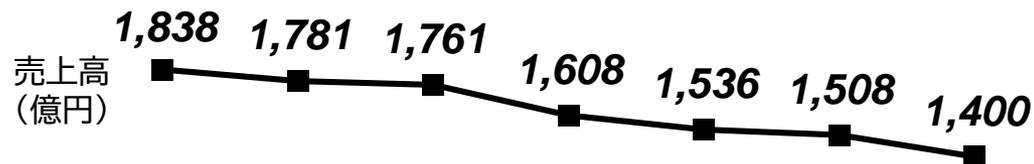
当社推定

	1990	2015	2018
金額規模	約15兆円	約10兆円	約9兆円
供給量	20億点	40億点	

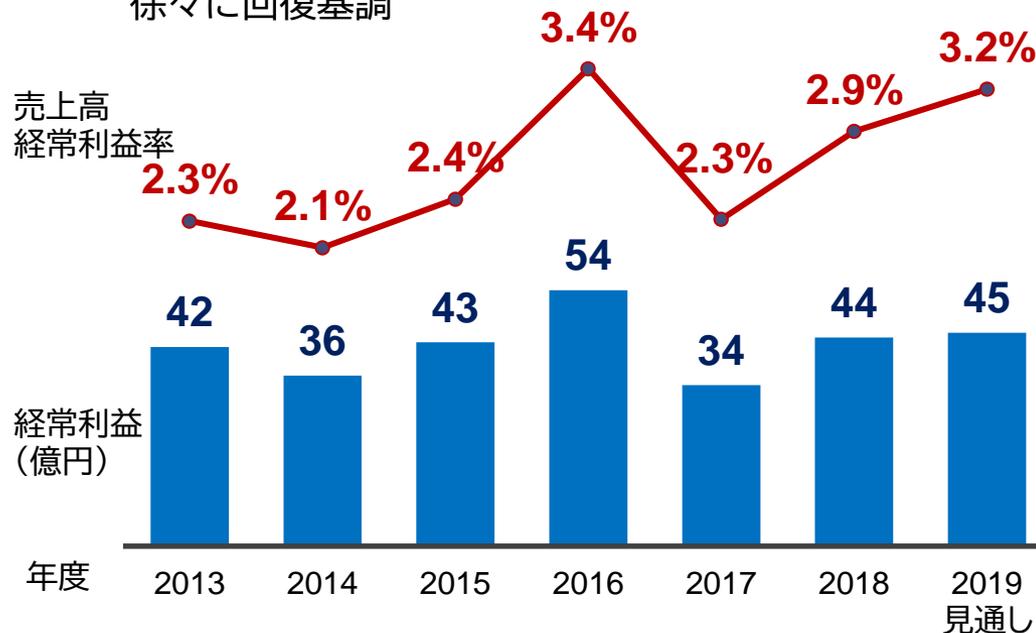
### EC比率

2015年度 8～9% → 2018年度 12%程度

### 繊維事業売上高・経常利益の推移



- ✓ 売上高は厳しい経営環境に加え、グループ内不採算分野の整理等もあり漸減
- ✓ 利益率は小ロット・短納期化が急激に進行した2017年度に大幅低下したが、ロス削減等の社内対応強化を進め、徐々に回復基調



#### α 新規先開拓 (売上高対策)

- グローバル市場の継続的開拓
- サステナブル・環境対応による顧客への訴求力を強化

#### β 更なるコスト改善の推進 (利益率対策)

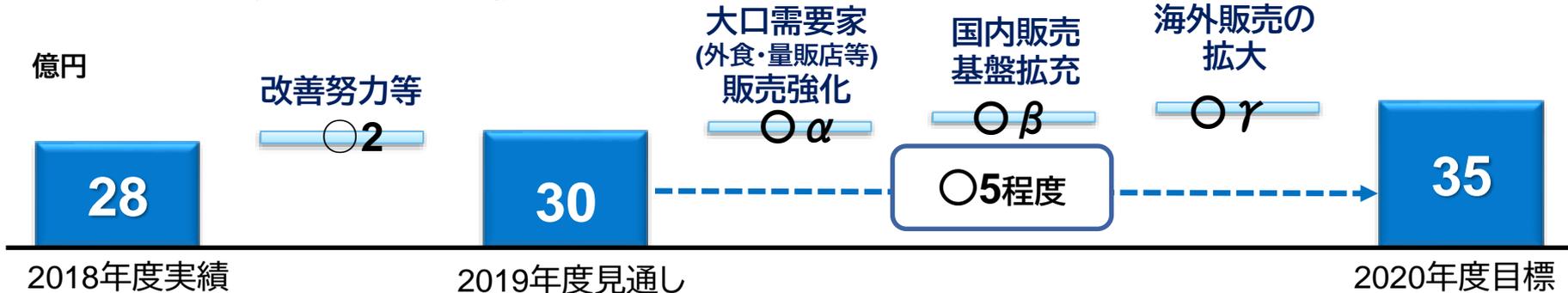
- サプライチェーンにおける効率化推進  
デジタルテクノロジーの活用を含めた企画提案・生産・物流・社内オペレーションの効率化を推進

#### γ 新たな事業投資/ アライアンスの推進

55

中期目標

### 経常利益の推移(2018年度実績～2020年度目標)



**$\alpha$  大口需要家(外食・量販店等)への販売強化**

経済協定対象国カナダ・メキシコ(TPP11)及びオランダ(日欧EPA)等の親密サプライヤーを活用した拡販

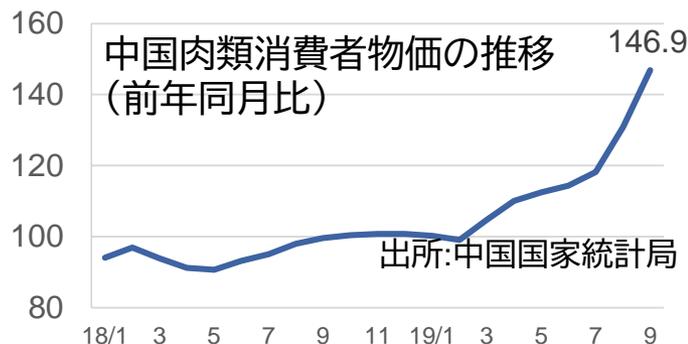
**$\beta$  国内販売基盤拡充**

畜肉ファブレスメーカー(コスモフーズ社)の子会社化

**$\gamma$  海外販売の拡大**

中国におけるアフリカ豚コレラ影響による豚肉市況上昇および豚肉代替需要として牛肉、鶏肉需要が増加  
→ 豪州産牛肉、ブラジル産鶏肉等の三国間取引拡大

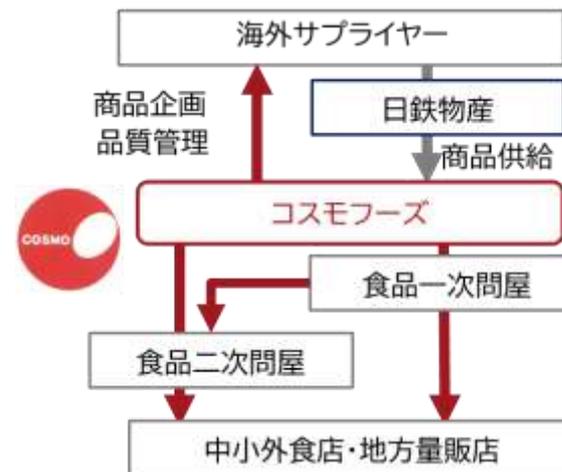
**+ 環境配慮型商品への取り組み**



# コスモフーズ株式会社の株式取得

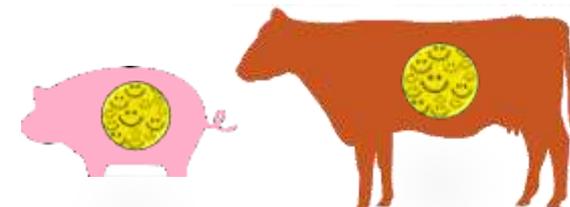
- コスモフーズ社は加工食品の輸入ファブレスメーカー
- 消費者ニーズに応える商品を企画し、販売する新たな事業領域への参入

名 称	コスモフーズ株式会社
事業内容	加工食品(ソーセージ、鴨肉、焼豚等)の開発・販売
売上高	16.5億円(2019年3月期)
株式取得後の所有割合	当社 90%, 日協食品(当社100%子会社)10%
株式取得日	2019年10月31日



## 環境配慮型商品への取組み

- 腸内フローラ適正化に資する天然素材発酵物の利用により、抗生物質を使用しない食肉生産システムを、欧州大手食肉業者に提案、実用化について推進中
- 植物性代替肉への取組みを海外サプライヤーと共に推進



# 更なる成長に向けた新たな戦略展開の視点

## DX(デジタルトランスフォーメーション)

- トレーディング等 商社業務のデジタル化推進
- AI・自動化技術を活用した鋼材加工工場・縫製工場等のスマート化
- デジタル化社会において新たな付加価値を生み出す商社機能の創造



## 海外インサイダー化等各事業グローバル化の更なる展開

- 世界各地域での鉄鋼バリューチェーン構築
- ヘッドレストステイ事業の地域展開
- 繊維・食糧事業における海外販売網の開拓、当社製品のブランディング



## SDGs・環境問題等への取組み

- 顧客ニーズに対応したエコ商品の販売拡大
- 地球環境負荷軽減に繋がる新しいビジネスの開拓
- 社員のワークライフバランス向上、ディーセントワーク\*の推進

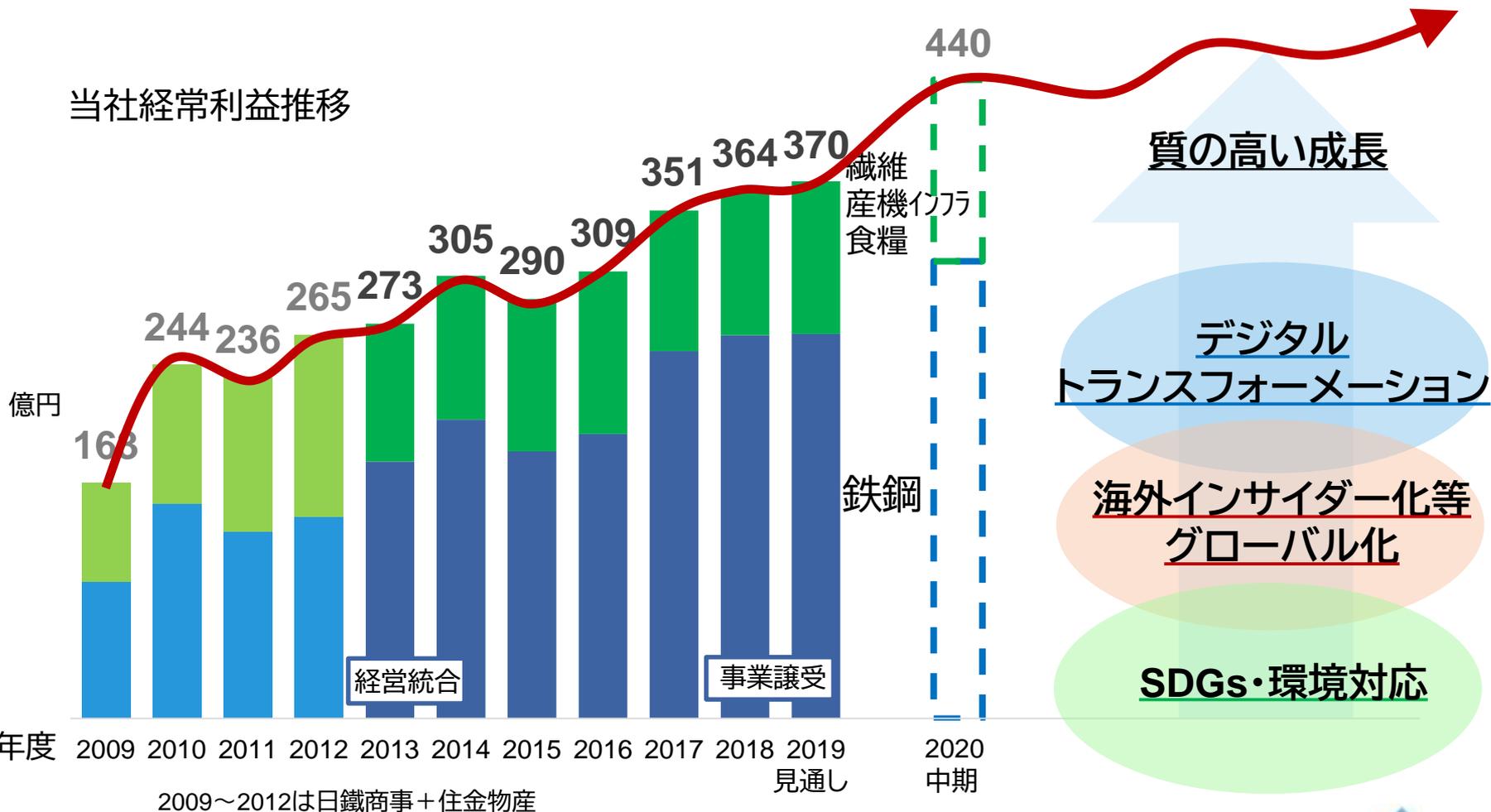


\*働きがいのある人間らしい仕事

# 当社の目指す成長の方向性

今後も、4事業の総合力と成長施策により、収益構造の質を高め、安定的な利益成長と企業価値の向上を目指す。

当社経常利益推移



# 3. 参考資料

---

# 2019年度上期決算概況

億円			2018年度			2019年度 上期	上期 増減
	上期	下期		1Q	2Q		
売上高	12,395	13,110	25,506	6,287	6,356	<b>12,644</b>	248
(比率) 海外売上高	(27.4%) 3,396	(26.1%) 3,419	(26.7%) 6,816	(28.1%) 1,767	(28.2%) 1,791	<b>(28.2%) 3,559</b>	(0.8%) 163
(利益率) 売上総利益	(5.9%) 727	(5.7%) 749	(5.8%) 1,476	(5.6%) 349	(5.8%) 369	<b>(5.7%) 719</b>	(-0.2%) -7
営業利益	177	184	361	80	93	<b>174</b>	-3
持分法損益	11	9	21	4	6	<b>11</b>	0
経常利益	180	184	364	81	92	<b>174</b>	-5
特別損益	9	-40	-31	-1	0	<b>-1</b>	-10
法人税等	54	35	89	24	28	<b>52</b>	-1
非支配株主利益	5	5	10	3	3	<b>6</b>	1
当期純利益	129	102	232	52	60	<b>113</b>	-16
EPS (円)	401.41	319.27	720.68	162.98	188.47	<b>351.45</b>	-49.96
配当 (円/株)	110	110	220			<b>115</b>	5

# 特別損益の内訳

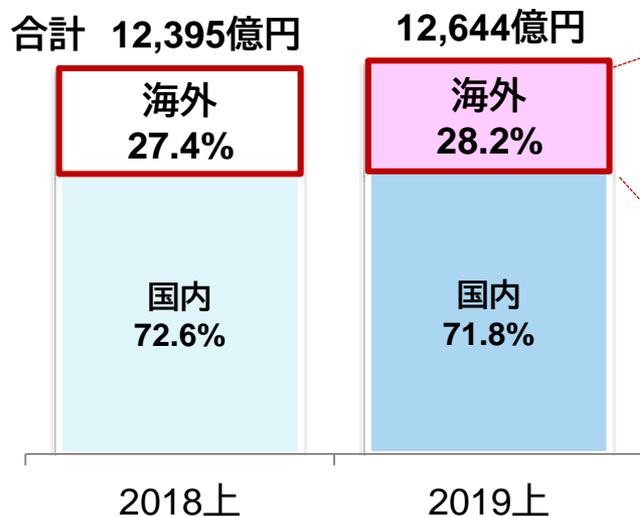
億円	上期	2018年度	2019年度		2019年度 上期	上期 増減
			1Q	2Q		
投資有価証券売却益	1.1	10.1	0.3	0.1	0.4	× 0.6
負ののれん発生益	13.2	20.5				×13.2
<b>特別利益計</b>	<b>14.3</b>	<b>30.6</b>	<b>0.3</b>	<b>0.1</b>	<b>0.4</b>	<b>×13.8</b>
固定資産売却損	0.6	0.6				○ 0.6
投資有価証券売却損		2.1	1.3		1.3	× 1.3
投資有価証券評価損		36.8	0.3		0.3	× 0.3
出資金売却損		0.4				-
出資金評価損	1.7	3.6				○ 1.7
関係会社整理損	2.7	3.7				○ 2.7
関係会社事業損失		14.9				-
<b>特別損失計</b>	<b>5.0</b>	<b>62.0</b>	<b>1.6</b>	<b>0</b>	<b>1.6</b>	<b>○ 3.4</b>
<b>特別損益計</b>	<b>9.2</b>	<b>-31.4</b>	<b>-1.3</b>	<b>0.1</b>	<b>-1.2</b>	<b>×10.4</b>

# 四半期別売上高・経常利益推移

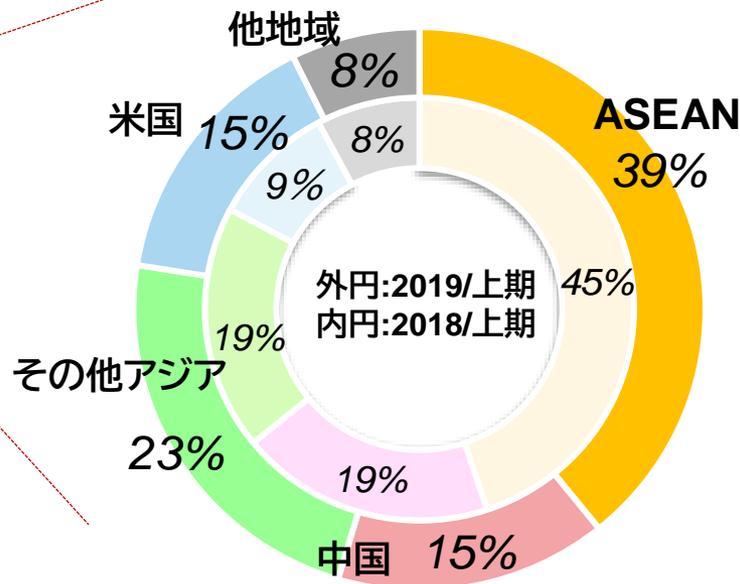
億円	2017				2018				2019	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
鉄鋼	3,896	4,138	4,351	4,363	5,194	5,289	5,613	5,532	5,433	<b>5,393</b>
産機・インワ	221	222	223	222	224	230	243	225	219	<b>220</b>
繊維	361	366	393	415	353	388	373	393	278	<b>369</b>
食糧	346	350	384	350	348	360	394	321	353	<b>369</b>
その他	4	4	3	3	3	4	3	8	2	<b>2</b>
<b>売上高計</b>	<b>4,830</b>	<b>5,081</b>	<b>5,356</b>	<b>5,355</b>	<b>6,123</b>	<b>6,272</b>	<b>6,628</b>	<b>6,481</b>	<b>6,287</b>	<b>6,356</b>
鉄鋼	63	63	67	59	74	63	70	55	60	<b>60</b>
産機・インワ	14	7	7	7	7	6	8	4	7	<b>10</b>
繊維	9	0	7	17	9	7	5	21	6	<b>15</b>
食糧	7	4	6	5	5	7	7	6	7	<b>5</b>
その他	0	0	0	0	-6	3	1	0	0	<b>0</b>
<b>経常利益計</b>	<b>95</b>	<b>75</b>	<b>89</b>	<b>90</b>	<b>91</b>	<b>88</b>	<b>94</b>	<b>89</b>	<b>81</b>	<b>92</b>

# 当社海外売上高の推移

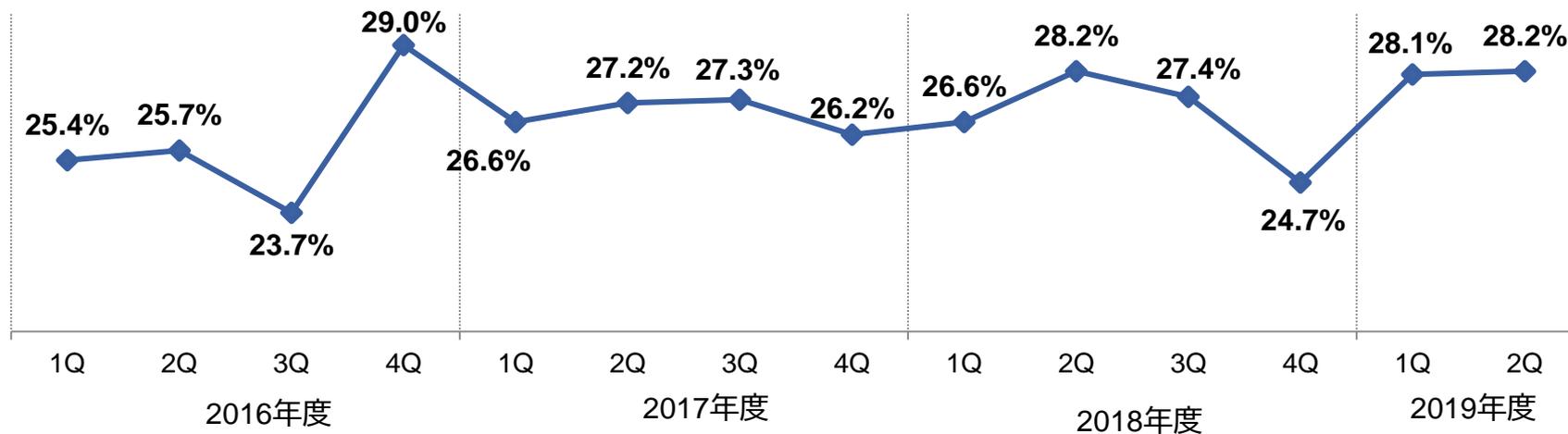
連結売上高内訳



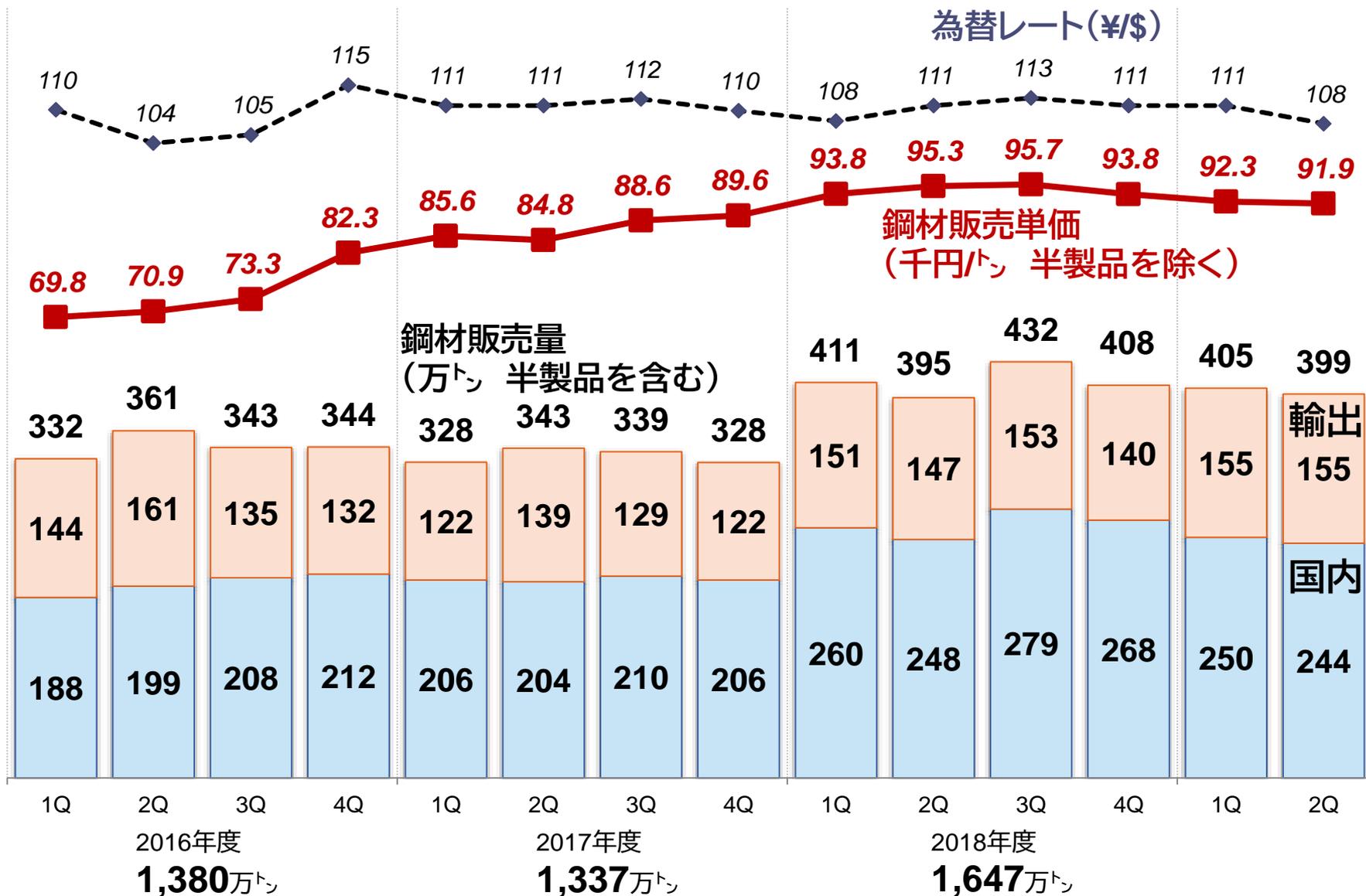
海外売上高地域別比率



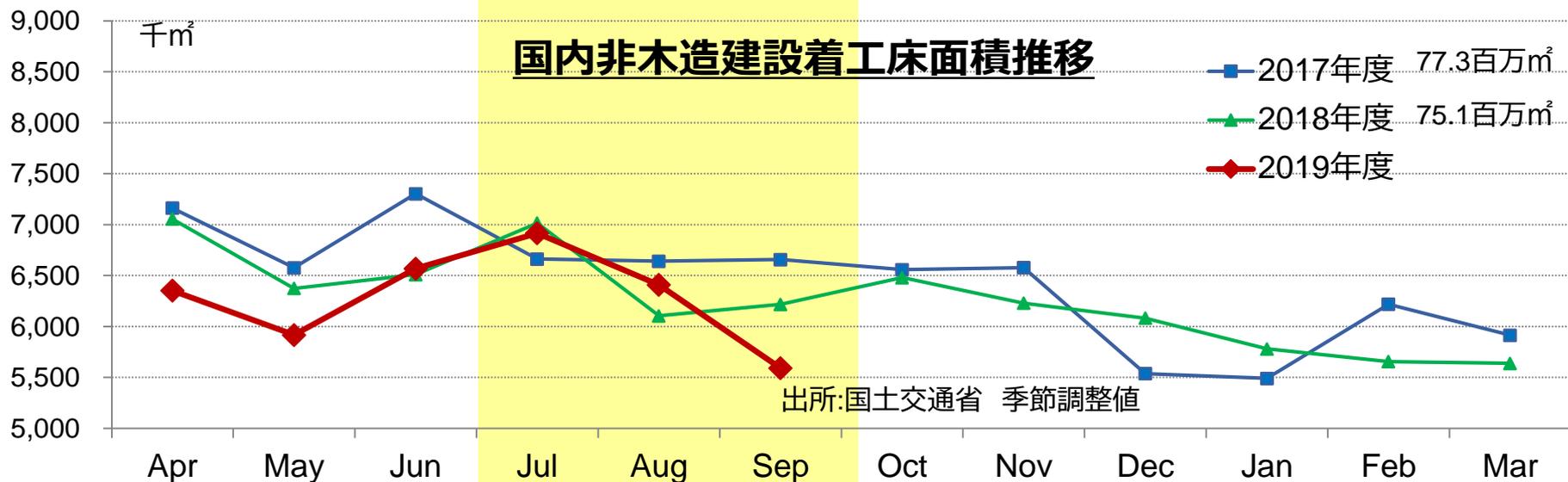
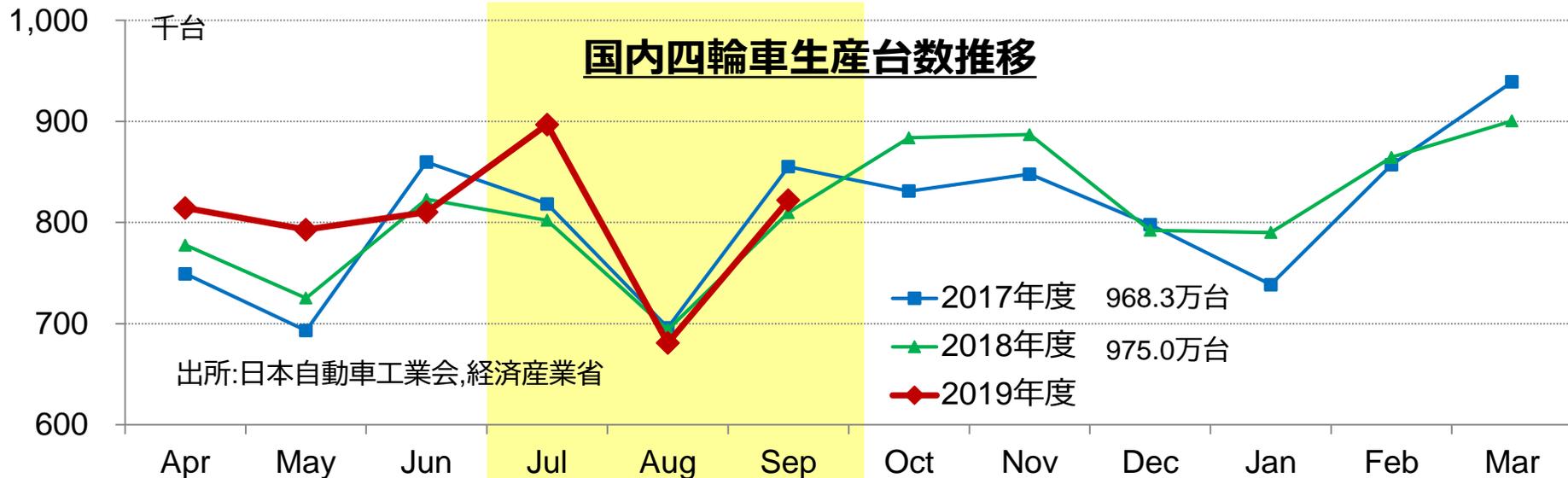
海外売上高比率推移



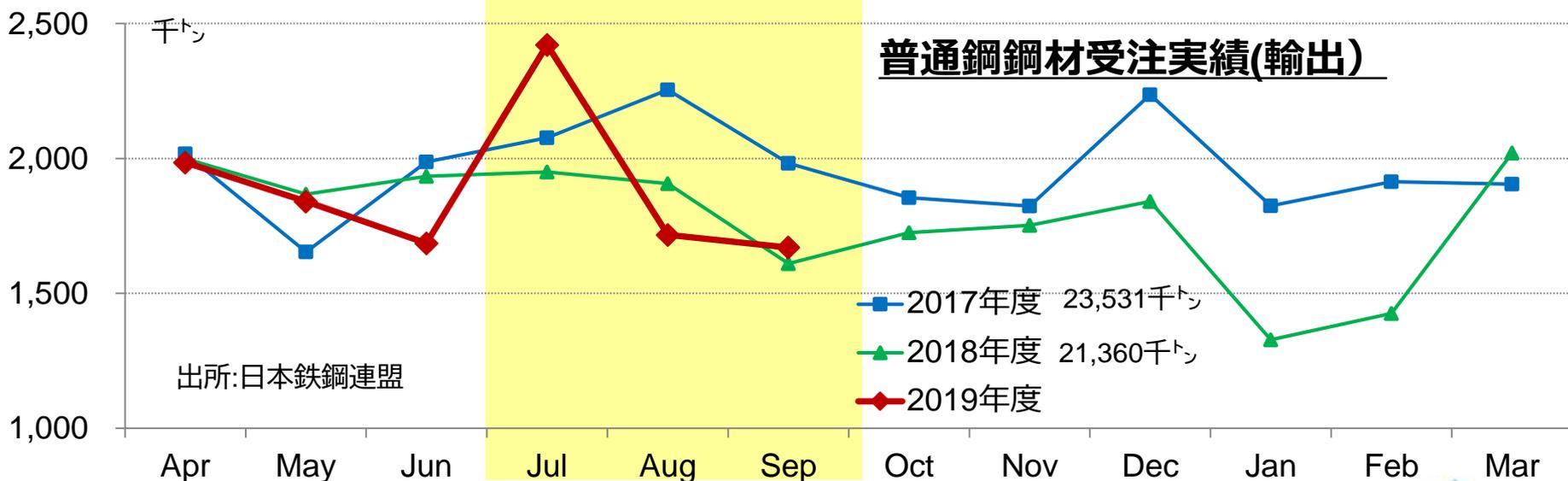
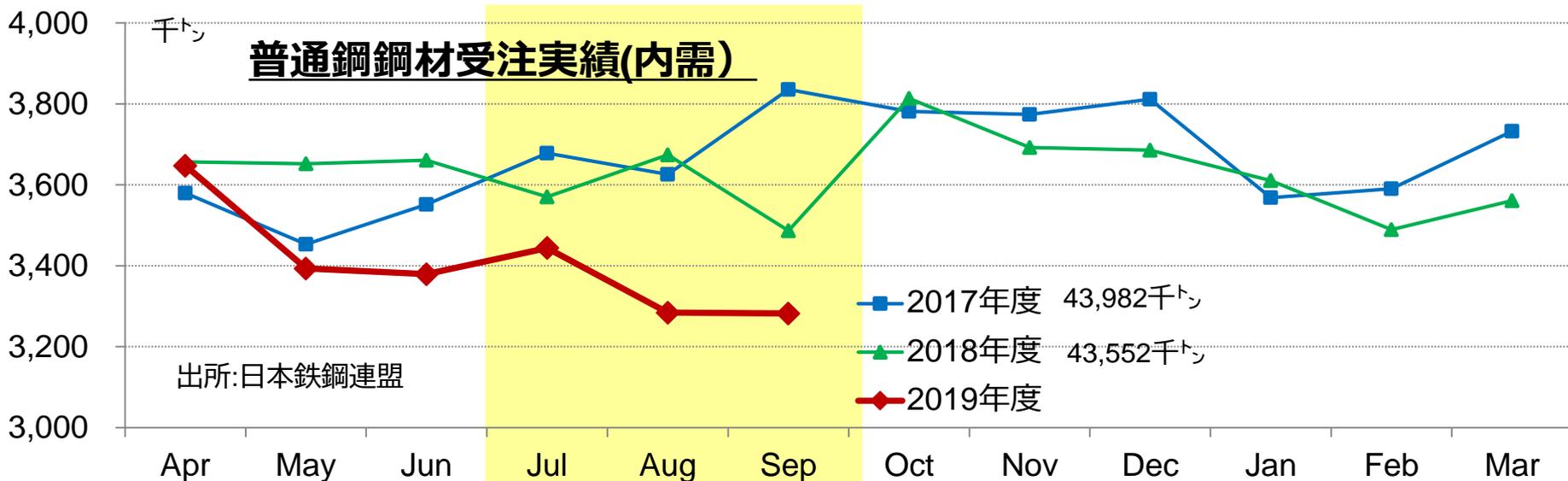
# 鉄鋼事業(単体) 鋼材販売量と単価の推移



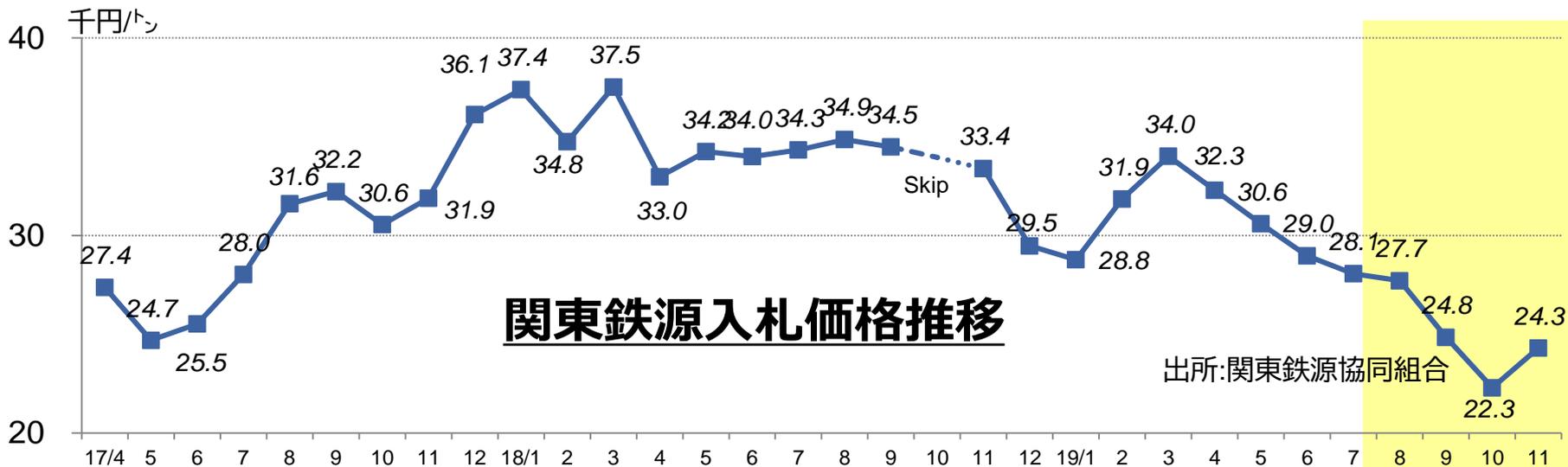
# 国内需要産業の動向



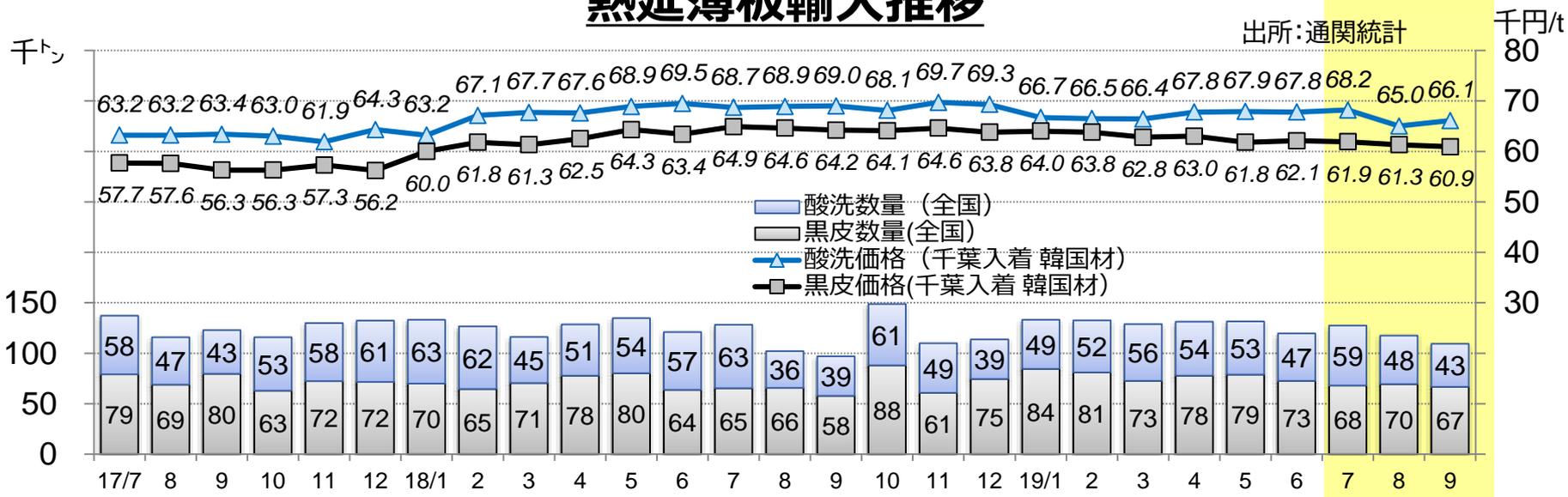
# 鋼材需要動向

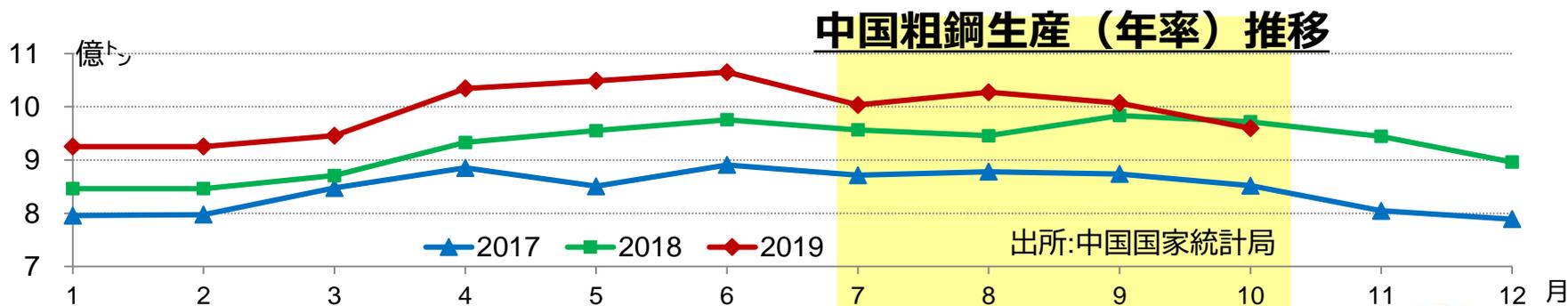


# 鋼材需給関係指標



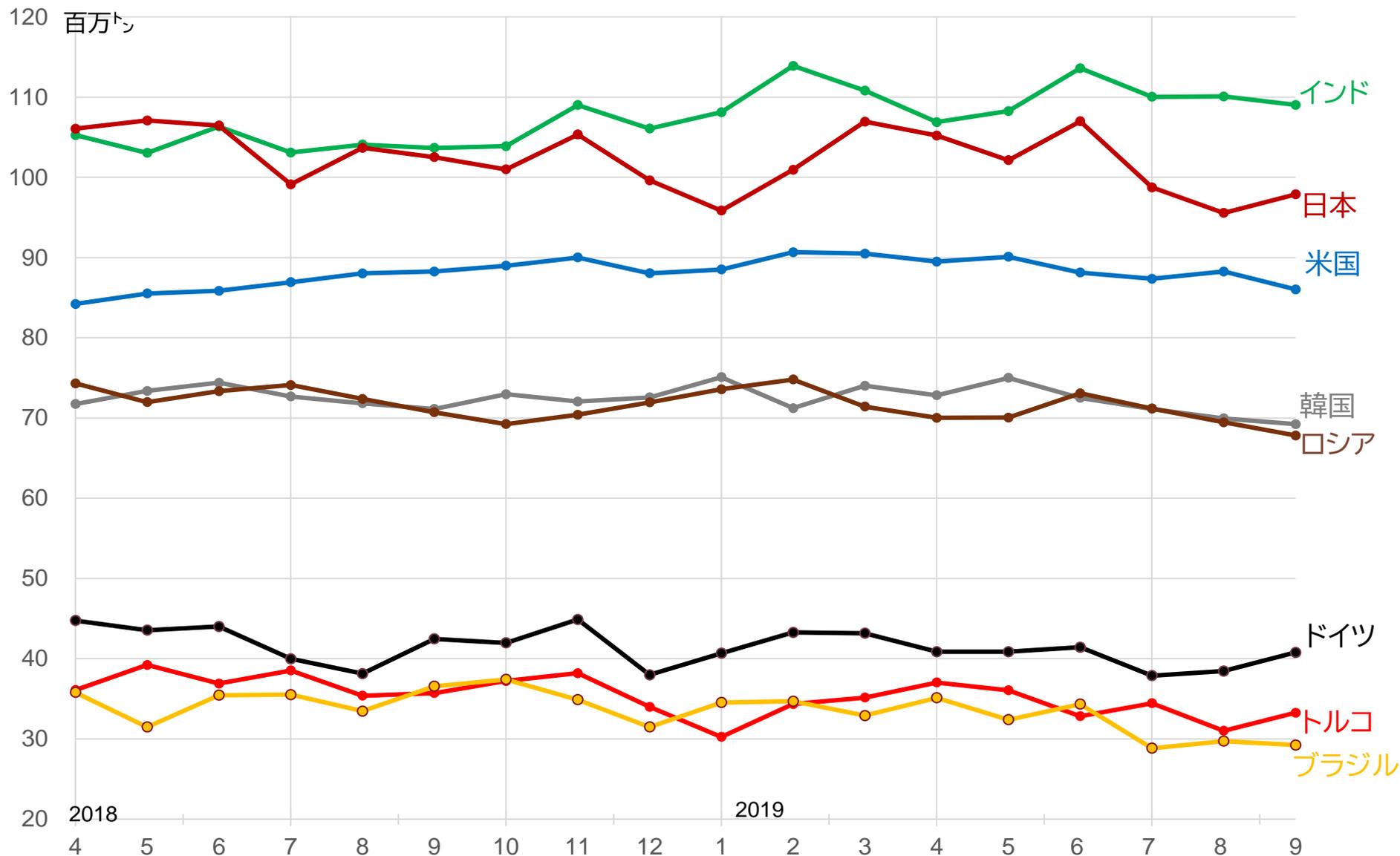
## 熱延薄板輸入推移



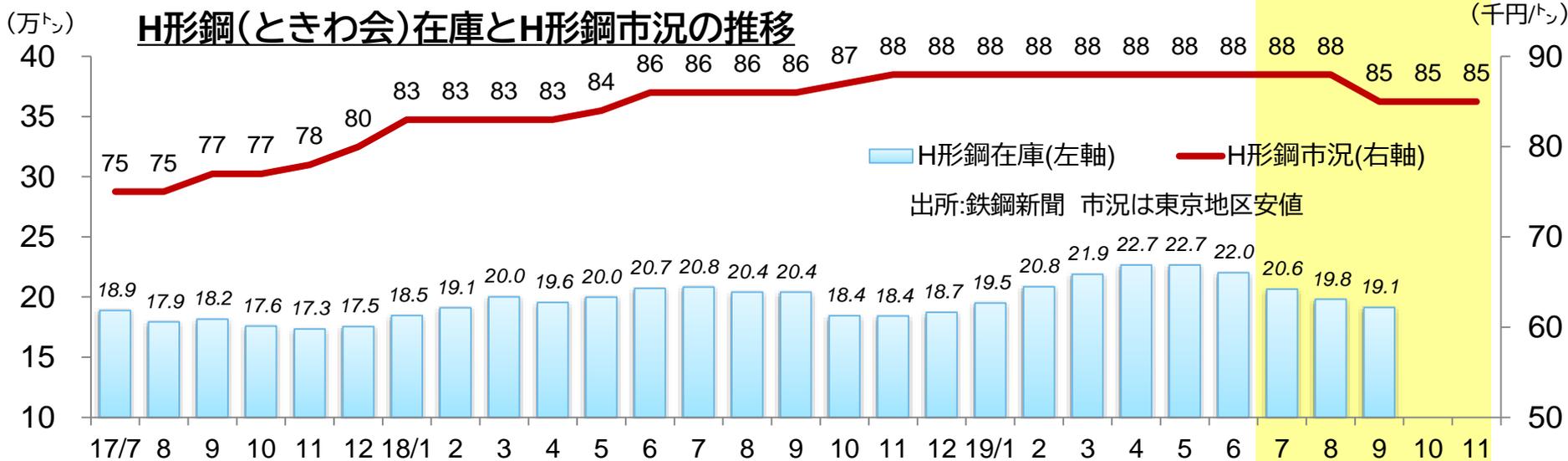
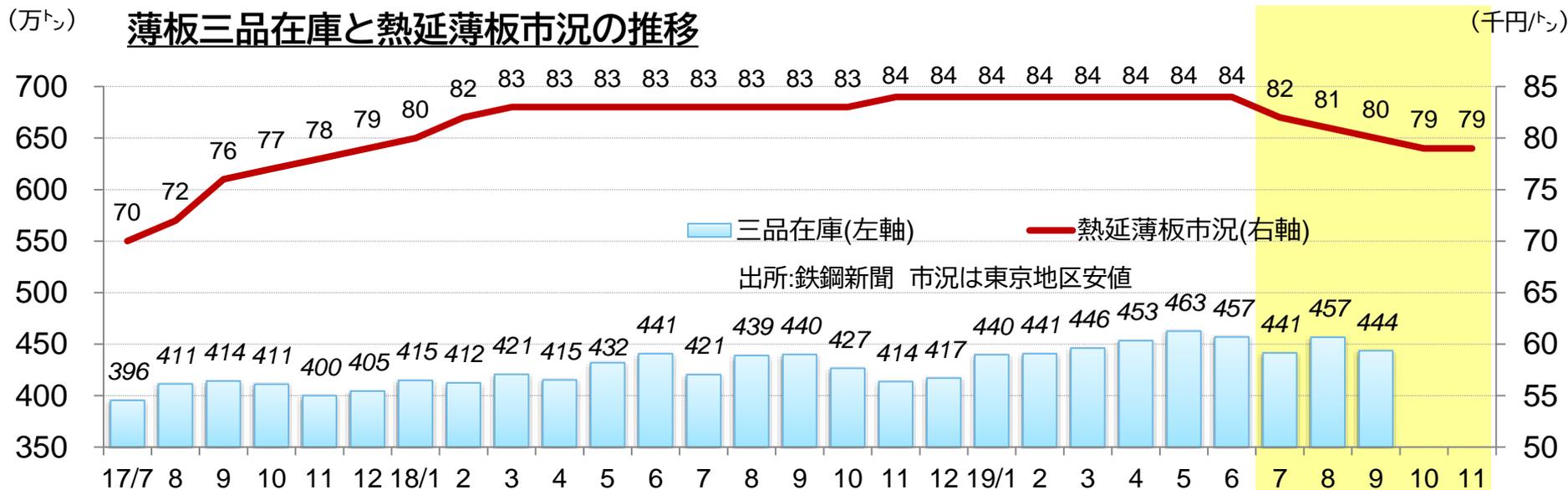


# 主要国粗鋼生産量

(出所:WSA 年率)

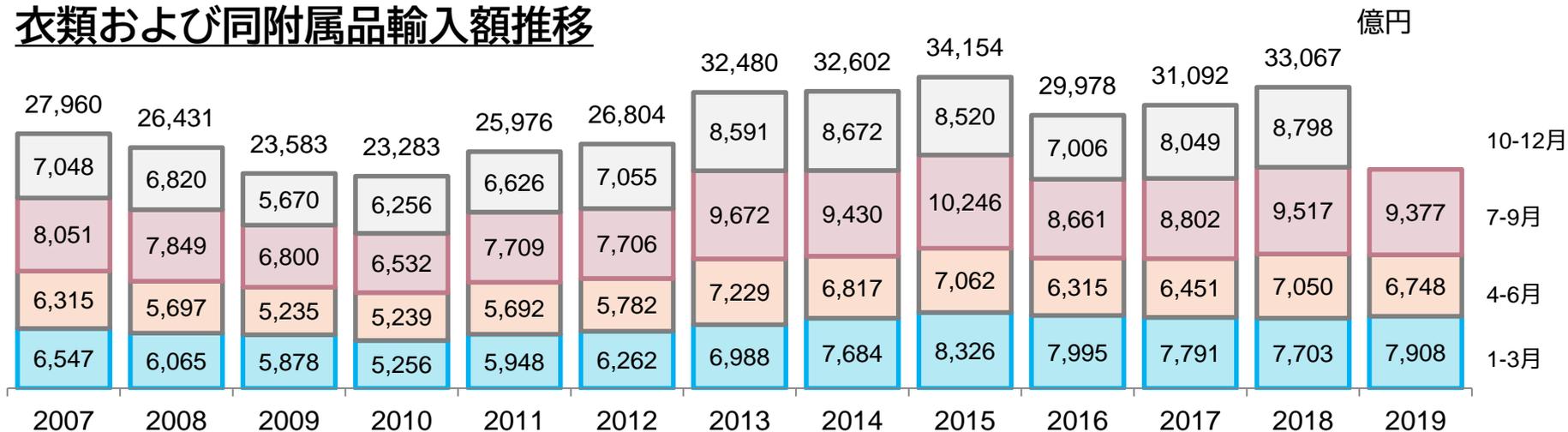


# 国内鋼材市況の推移





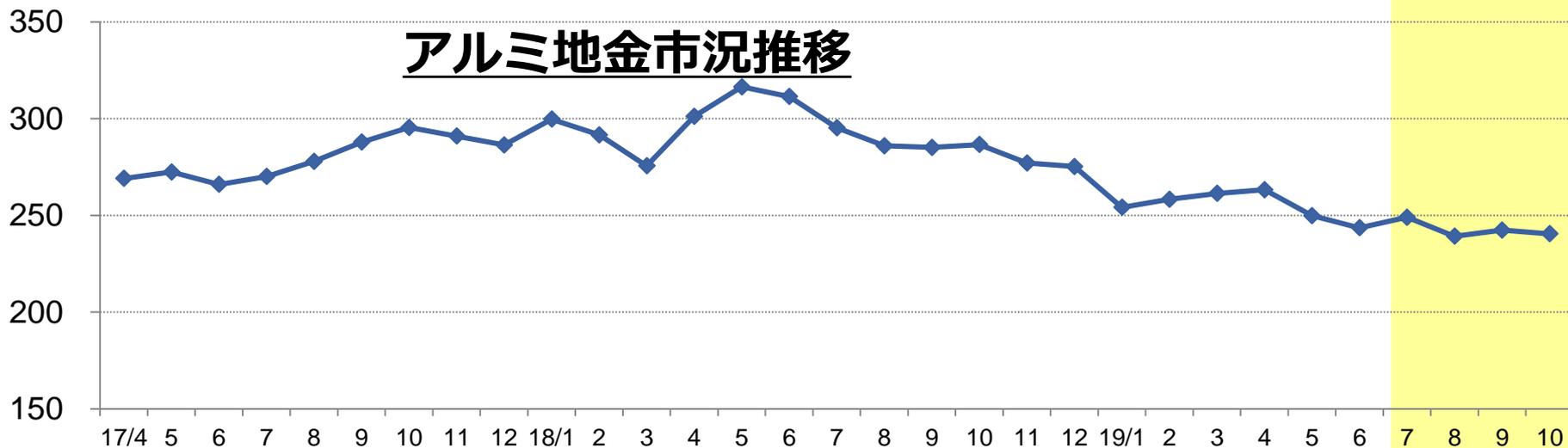
## 衣類および同附属品輸入額推移



出所:通関統計

千円/t

## アルミ地金市況推移

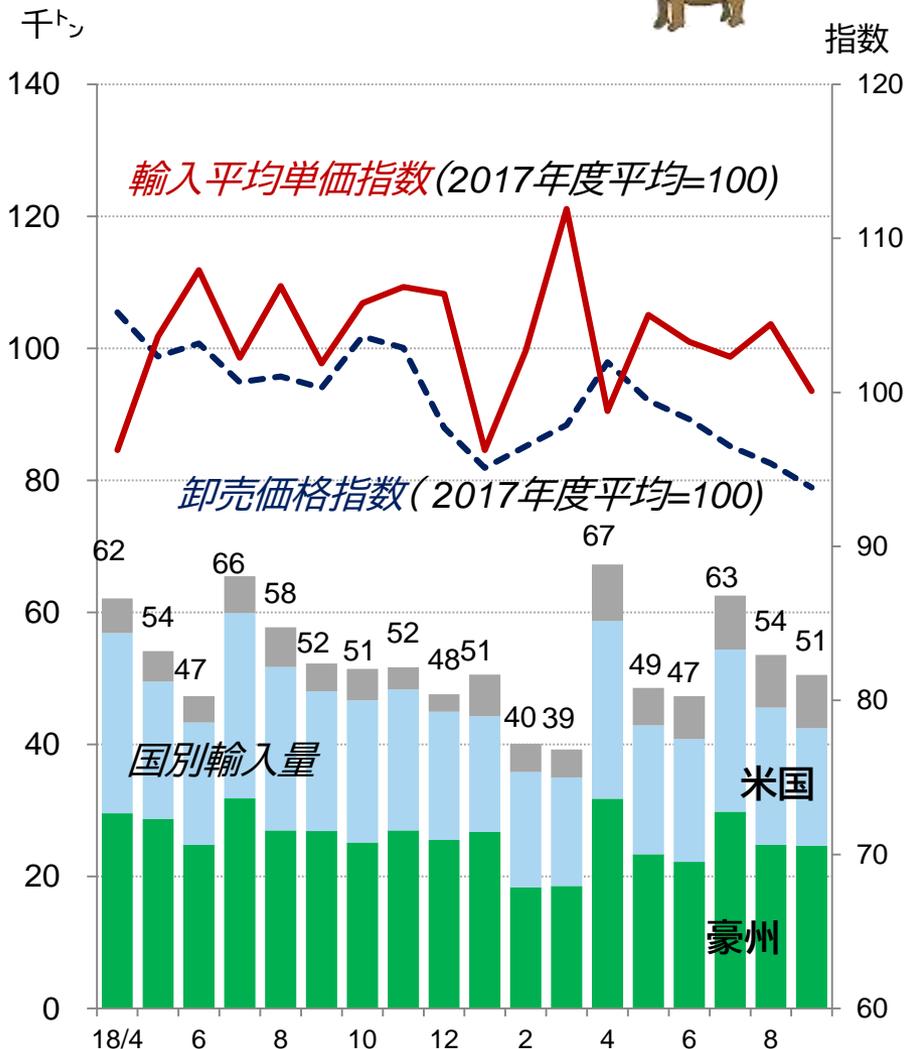


出所:日本経済新聞

# 食糧事業関係指標-1

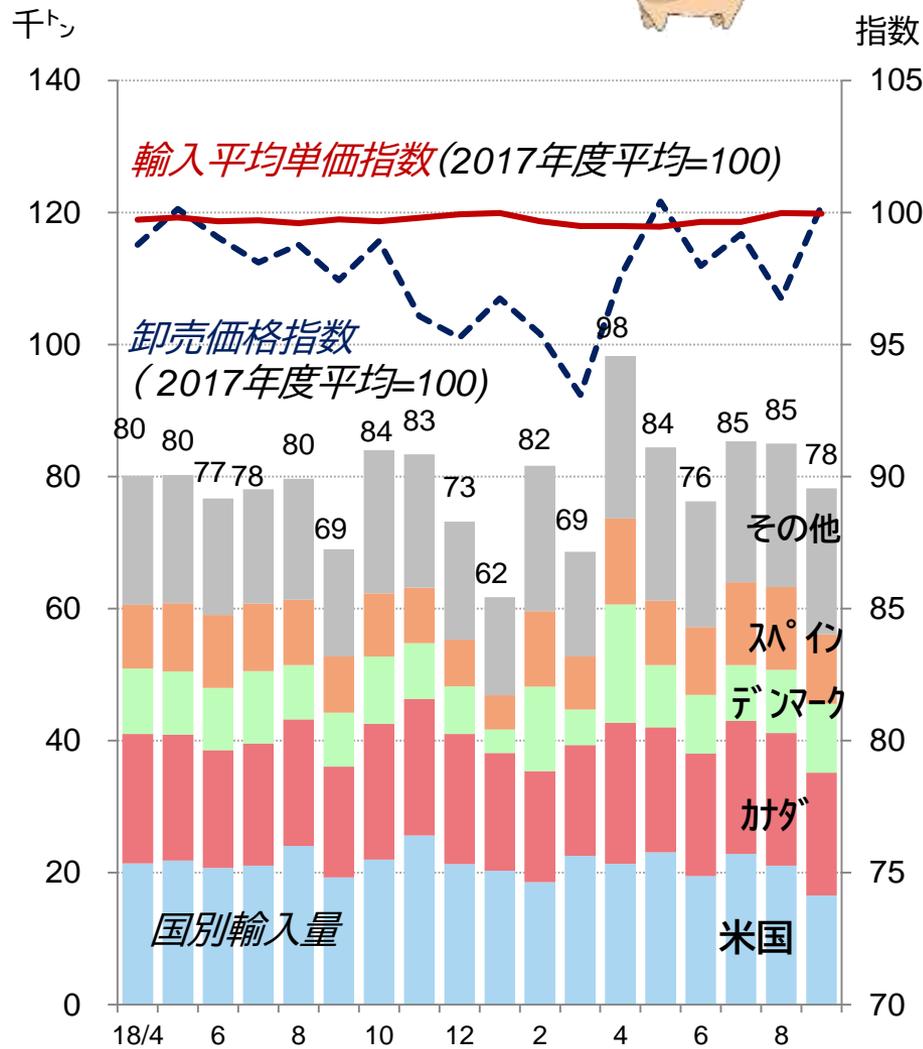


## 輸入牛肉量および市況



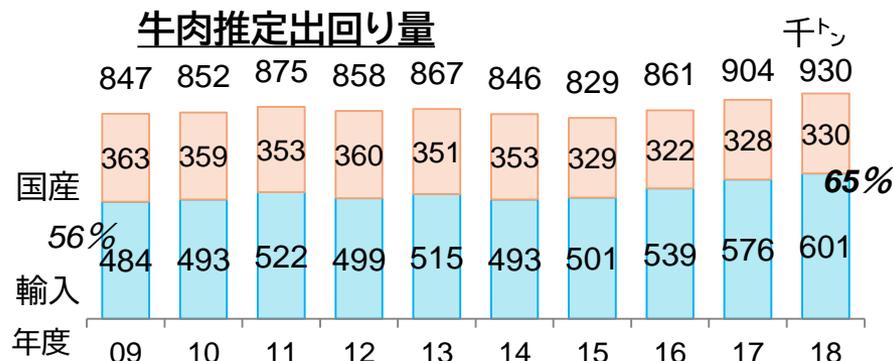
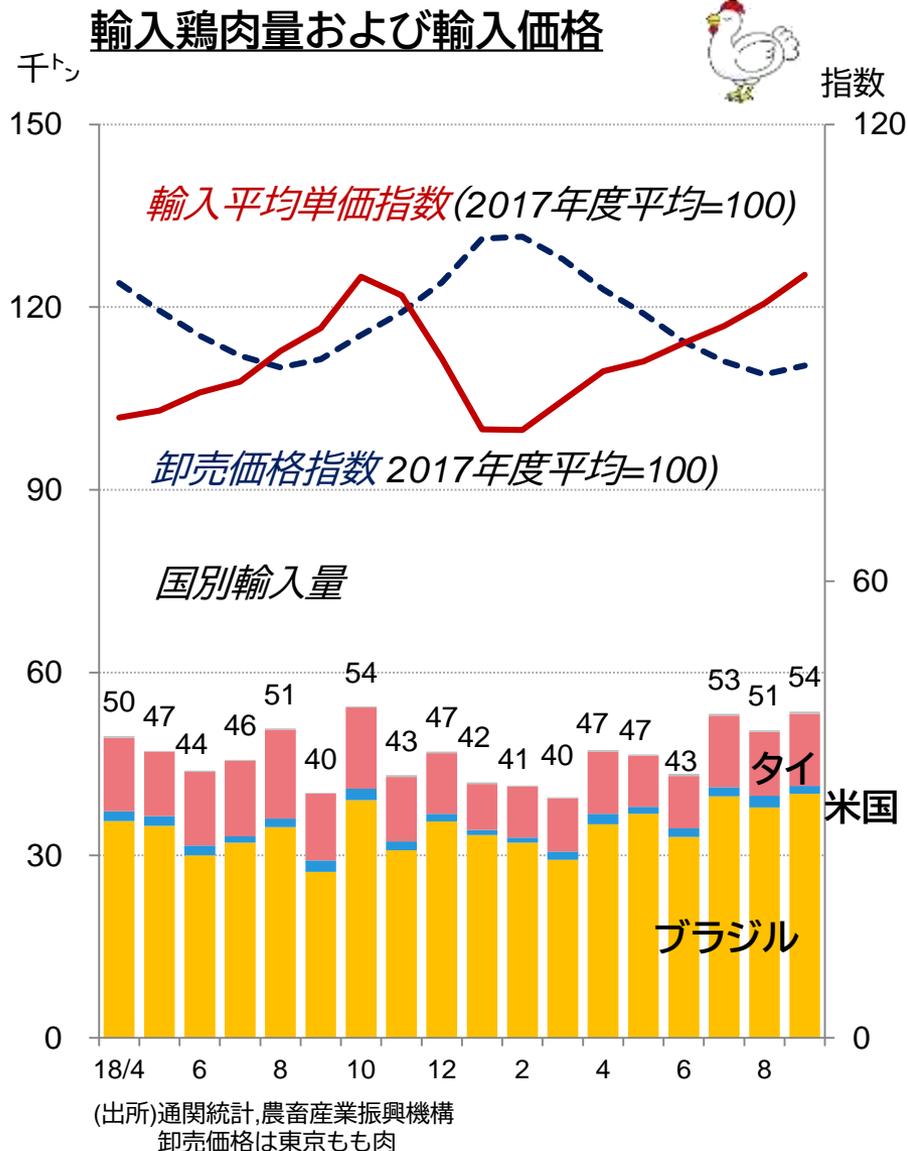
(出所)通関統計,農畜産業振興機構  
卸売価格は米国産冷蔵チャックアイロール(肩ロース)

## 輸入豚肉量および市況



(出所)通関統計,農畜産業振興機構  
卸売価格は米国産冷蔵ばら

# 食糧事業関係指標-2



## 日鉄物産株式会社企業理念

1. 新たな社会的価値を持った製品、サービスを生み出す  
高い志を持った企業グループであり続けます。
2. 信用、信頼を大切にし、お客様と共に発展します。
3. 人を育て人を活かし、人を大切にする企業グループを創ります。

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料でなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、開示の時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されることはお控えくださいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

